

# 2023年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2023年2月7日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（[https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現の見積りは、常に化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

## 本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4
1米ドル	110.00	110.47	113.60	117.10	129.04	138.68	141.16	
期末レート	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末
1米ドル				122.39			132.70	

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

## その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

- **經理編**
- **財務編**
- **SoftBank Vision & LatAm Funds**

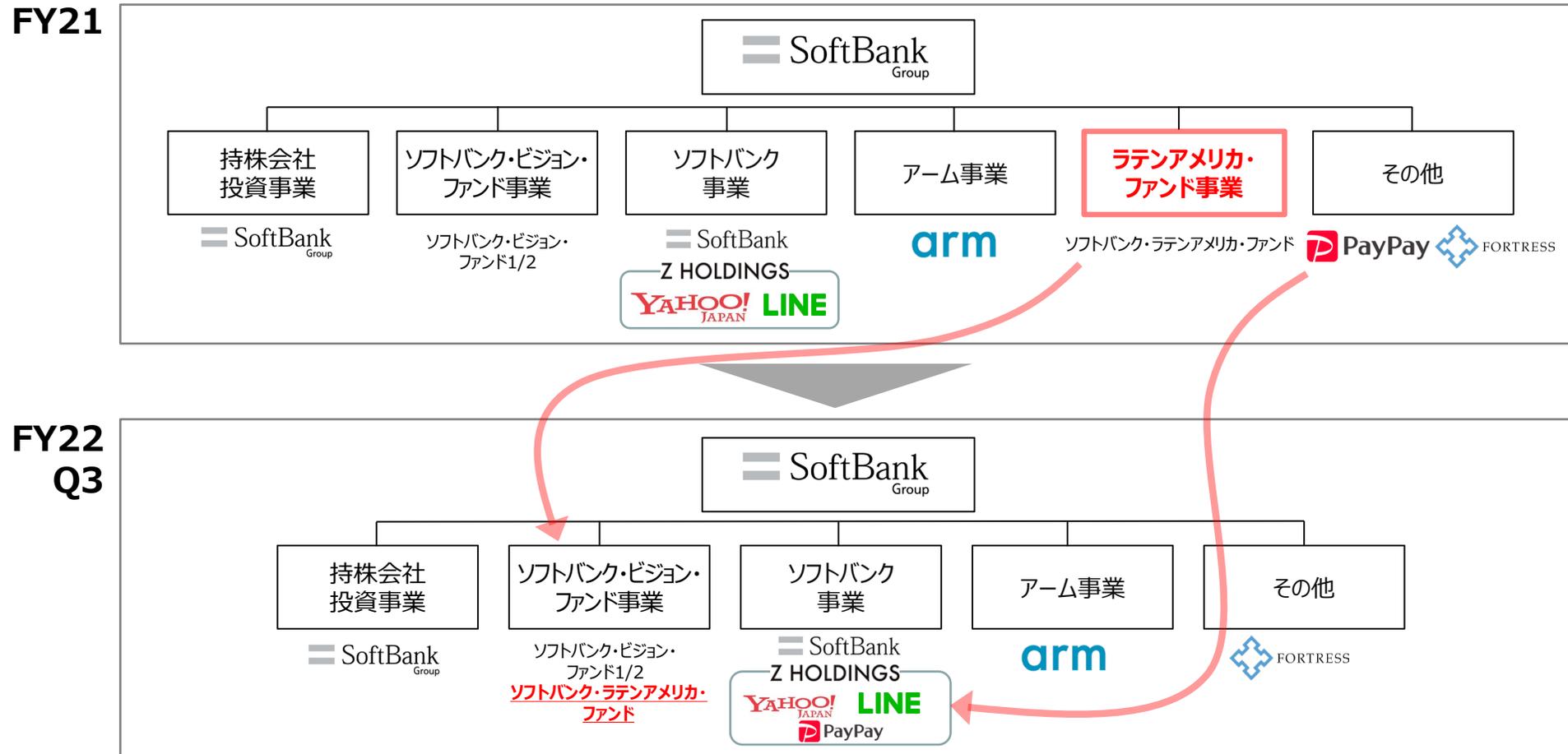
# 經理編

# 連結業績概況

(億円)	FY21 Q1-Q3	FY22 Q1-Q3	増減額	増減率
売上高	45,808	48,758	2,949	6.4%
税引前利益	12,347	-2,900	-15,248	-
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	3,926	-9,125	-13,051	-
(参考)				
投資損益合計	-5,518	-13,612	-8,094	-
持株会社投資事業	160	36,996	36,836	-
ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業	-6,291	-50,068	-43,776	-
その他	614	-540	-1,154	-

# 報告セグメントの変更

FY22Q1にラテンアメリカ・ファンド事業をソフトバンク・ビジョン・ファンド事業へ  
 FY22Q3にPayPayをソフトバンク事業へ



\*2022年10月よりPayPayはSBKKおよびZホールディングスの子会社となったため、FY22Q3よりPayPayの業績は「その他」ではなく「ソフトバンク事業」に含めて表示し、FY22Q1-Q3と前年同期を遡及修正している。

2022年10月よりPayPayはSBKKとZホールディングスの子会社に

## SBKK

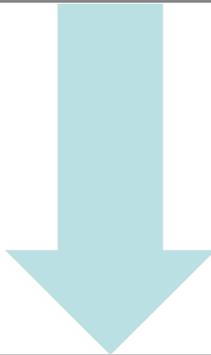
- PayPay子会社化：FY22Q3に企業結合に伴う**再測定益2,948億円を計上**
- 会計処理の変更：
  - FY22Q3より、PayPay子会社化を契機に、非支配株主が存在する中で行われた共通支配下の取引について簿価引継法（持分プーリング法）から**取得法に変更\***
  - 2019年6月のヤフー（現Zホールディングス）子会社化等の取引の会計処理を遡及修正 → 識別可能無形資産を認識 → **償却費を計上**

## SBG

PayPayやZホールディングスは一貫して連結子会社のため**上記の影響は無く、再測定益や償却費を計上しない**

\*SBKKは、従来、共通支配下の取引は親会社の帳簿価額に基づき会計処理し、実際の共通支配下の取引日にかかわらず、親会社による被取得企業の支配獲得日もしくは前連結会計年度の期首時点のいずれか遅い日に取得したものとみなして、被取得企業の財務諸表をSBKKの連結財務諸表の一部として遡及して連結する会計方針（簿価引継法（持分プーリング法））を採用していた。

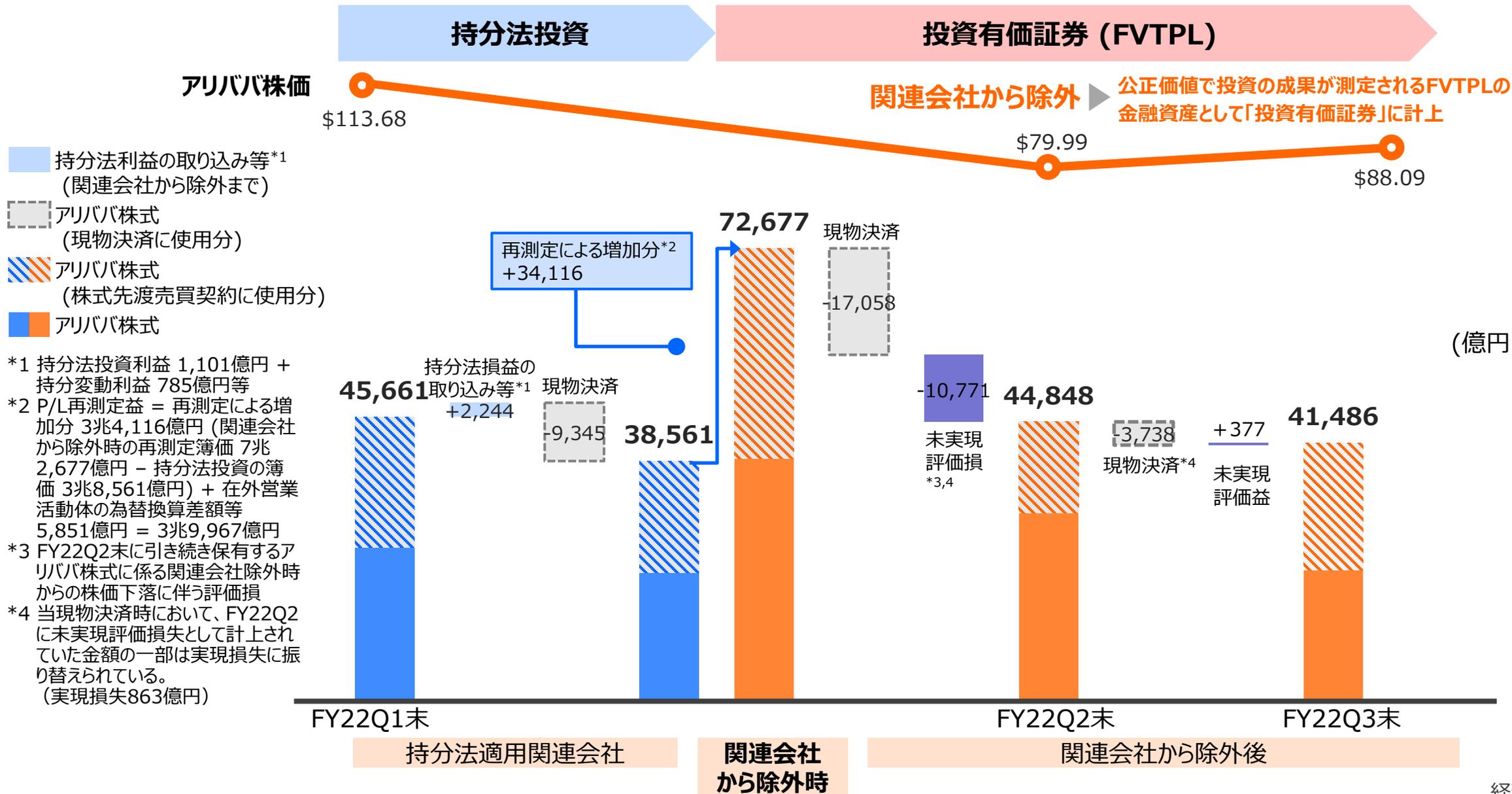
# アリババ (FY22Q2-Q3取引)

		持分比率	連結範囲
<b>2022年6月末現在</b>		23.7% <sup>*1</sup>	持分法 適用関連会社
7月	株式先渡売買契約による調達 (68億米ドル)		
7月	株式先渡売買契約の現物決済		
8-9月	株式先渡売買契約の早期現物決済 (242百万ADR)	<20%	関連会社から除外
9月	株式先渡売買契約による調達 (11億米ドル)		その他投資 (FVTPL=市場価格)
10-11月	株式先渡売買契約による調達 (61億米ドル)		
10-12月	株式先渡売買契約の現物決済		
<b>2022年12月末現在</b>		13.5% <sup>*2</sup>	

\*1 2022年6月末の持分比率は、Alibaba Group Holding LimitedのForm 20-Fに記載された2022年3月31日現在の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,357,323,112株に基づき算出。

\*2 2022年12月末の持分比率は、2022年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出。

# アリババ株式 (B/S計上額)



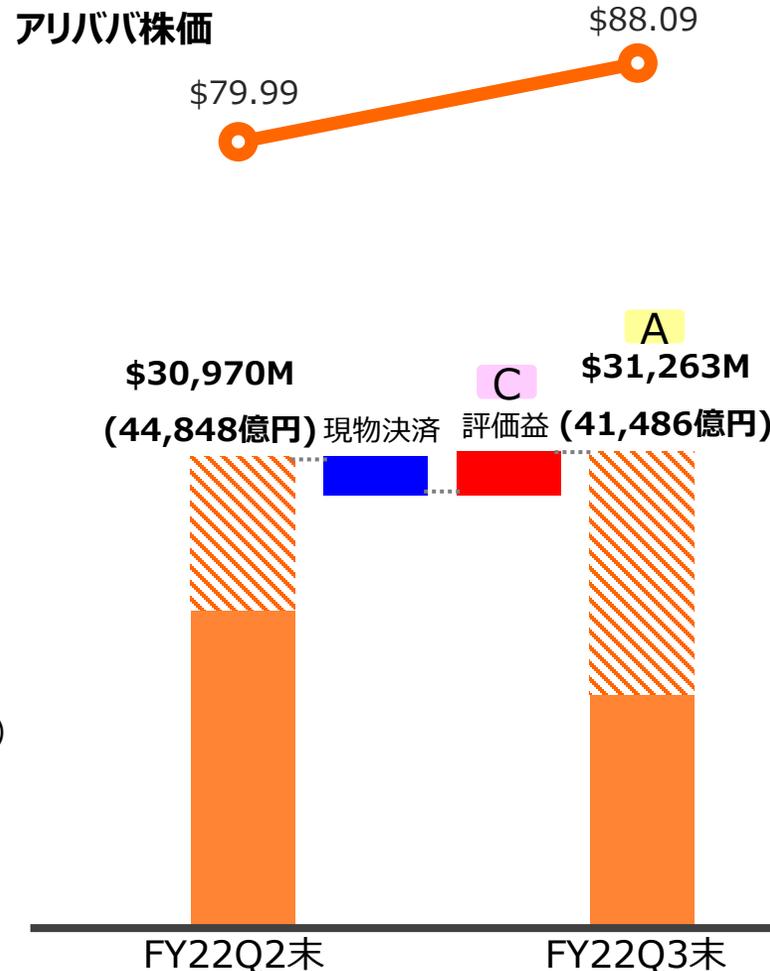
# アリババ株式とデリバティブ金融資産 (B/S計上額)

先渡し売買契約考慮後の  
アリババ株式B/S計上額  
32,825百万米ドル  
( A + B )

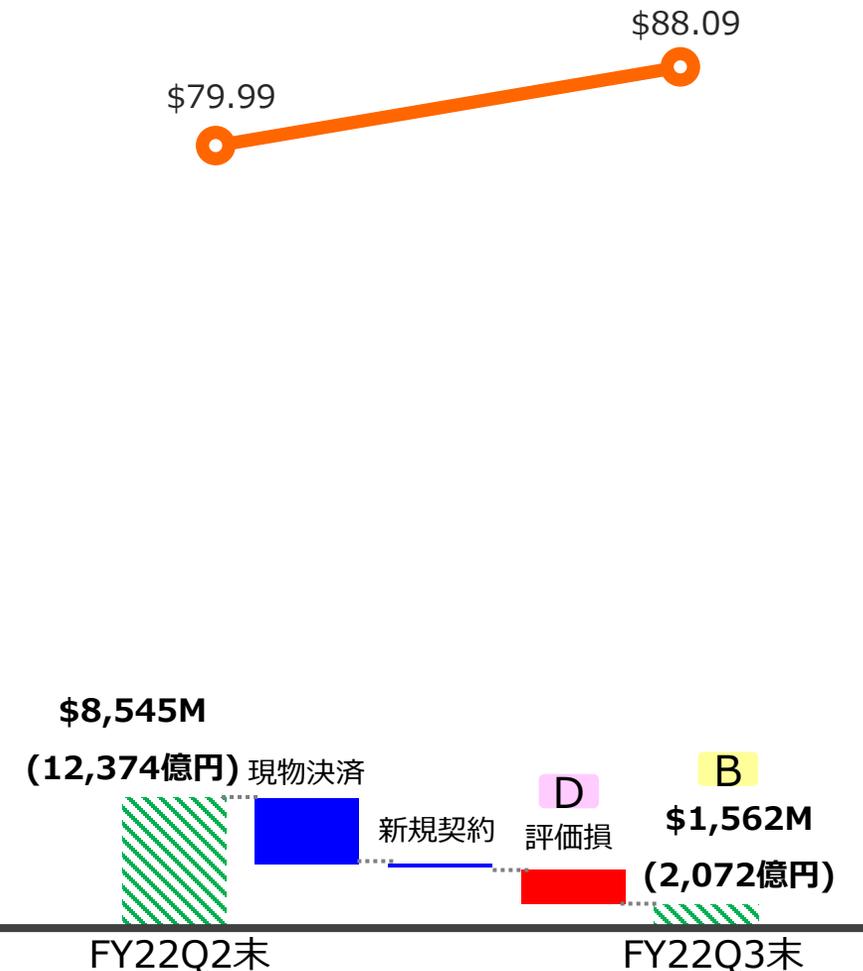
株式評価益( C )のうち、  
株式先渡し売買契約に使用  
している株式に係る評価益  
はデリバティブ評価損( D )と  
ほぼオフセット

-  アリババ株式  
(株式先渡し売買契約に使用分)
-  アリババ株式
-  デリバティブ金融資産 (純額)

## 投資有価証券 (FVTPL)



## デリバティブ金融資産 (純額)



2022年8-9月のアリババ株式先渡売買契約の早期現物決済に関連するデリバティブ利益の実現などにより課税所得が生じた当社100%子会社がQ3に**2,018億円**のキャッシュタックスを支払い済



SBG単体では上記早期現物決済に関連する資金調達子会社へのアリババ株式の売却に伴う利益を含む課税所得に基づき、**2,500億円±α**のキャッシュタックスが発生すると22年12月末時点で試算

ただし、SBG単体の23年3月末までの為替差損益を含むその他の損益次第であるため金額は当期末まで未定

# セグメント利益：ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業

(億円)

P/L項目	FY21 Q1-Q3	FY22 Q1-Q3	FY22Q1-Q3摘要
<b>SVF事業からの投資損益</b>	<b>-4,410</b>	<b>-50,427</b>	
<b>SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益</b>	<b>-4,429</b>	<b>-50,481</b>	<b>SVF1 -2兆3,654億円、SVF2 -2兆2,400億円、LatAmファンド -4,427億円</b>
投資の実現損益*	11,185	470	SVF1 +481億円 (6銘柄の全株式売却および複数の上場銘柄の一部株式の売却など)、SVF2 -27億円 (主にKE Holdingsの全株式売却および複数の上場銘柄の一部株式の売却)、LatAmファンド +16億円
投資の未実現評価損益*	-15,918	-50,205	
当期計上額	-4,008	-48,553	FY22Q3末に保有する投資の未実現評価損失： SVF1 -2兆1,455億円 (-160.0億米ドル)、SVF2 -2兆2,657億円 (-170.3億米ドル)、 LatAmファンド -4,440億円 (-33.7億米ドル)
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-11,910	-1,652	FY22Q1-Q3に売却した投資に係る未実現評価損益の過年度計上額を「投資の実現損益」に振り替えた金額： SVF1 -1,836億円 (-20.4億米ドル)、SVF2 +185億円 (+0.8億米ドル)、 LatAmファンド -2億円 (-0.01億米ドル)
投資先からの利息及び配当金	254	12	
投資に係るデリバティブ関連損益	512	162	
為替換算影響額	-462	-920	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
<b>その他の投資損益</b>	<b>19</b>	<b>54</b>	
販売費及び一般管理費	-614	-532	
財務費用	-198	-591	
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	10	9	
SVFにおける外部投資家持分の増減額	1,707	11,458	各ファンドからの投資損益から、①SBIAがSVF1から受領する管理報酬および成功報酬、②SBGAがSVF2から受領する管理報酬および業績連動型管理報酬、③SBGAがLatAmファンドから受領する管理報酬、業績連動型管理報酬および成功報酬、④各ファンドの営業費用およびその他の費用を控除した金額を、持分に応じて外部投資家に分配した成果分配額および固定分配額の合計
その他の損益	-3	-24	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>-3,508</b>	<b>-40,108</b>	

\*純額で表示。

# (参考) SVF1&2投資の状況

(十億米ドル)

	活動開始来累計			FY22*1	
	投資額*2	リターン*2	損益	Q3 損益計上額	Q1-Q3 損益計上額
<b>SVF1</b>	<b>89.6</b>	<b>100.6</b>	<b>11.0</b>	<b>-2.5</b> (-3,572億円)	<b>-17.7</b> (-2兆3,654億円)
エグジットした投資	23.1	41.6	18.5	0.3	0.3
エグジット前の投資	66.5	56.6	-9.9	-2.6	-16.0
FY22にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				-0.2	-2.0
デリバティブ/受取利息/配当金	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0
<b>SVF2</b>	<b>49.9</b>	<b>33.2</b>	<b>-16.7</b>	<b>-2.2</b> (-3,056億円)	<b>-16.8</b> (-2兆2,400億円)
エグジットした投資	1.6	2.7	1.1	-0.0	-0.0
エグジット前の投資	48.3	30.7	-17.6	-2.0	-17.0
FY22にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				0.0	0.1
デリバティブ/受取利息/配当金	—	-0.2	-0.2	-0.2	0.1

\*1 「エグジットした投資」のFY22損益計上額は、当該投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額。過年度またはFY22Q1およびFY22Q2に計上した当該投資に係る未実現評価損益については、「FY22にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替」に表示している。そのため、「エグジット前の投資」のFY22Q1およびFY22Q2に開示したFY22Q1 (4-6月) およびFY22Q2 (7-9月) の損益計上額と、FY22Q3 (10-12月) の損益計上額との合計は、FY22Q1-Q3 (4-12月) の損益計上額と一致しない場合がある。

\*2 投資額は、デリバティブについてはデリバティブ原価を表す。リターンは、エグジットした投資についてはエグジット金額を、エグジット前の投資については公正価値を、デリバティブについては既決済契約の決済額または未決済契約の公正価値を、受取利息または配当金については各受領額を指す。

# セグメント利益：持株会社投資事業

(億円)

P/L項目	FY21 Q1-Q3	FY22 Q1-Q3	FY22Q1-Q3摘要
<b>持株会社投資事業からの投資損益</b>	<b>158</b>	<b>36,997</b>	
アリババ株式先渡売買契約決済関連利益	681	48,383	詳細はp5、30参照
Tモバイル株式売却関連損益	31	248	Tモバイル株式売却取引の詳細はp12参照
資産運用子会社からの投資の実現損益	683	-699	SB Northstar：上場株式等への投資の結果
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	-2,593	-628	
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	1,237	-50	
投資の実現損益	-2,694	-2,379	FY22Q1-Q3：アリババ（関連会社から除外後）-2,109億円
投資の未実現評価損益	2,618	-9,573	
当期計上額	-1,532	-9,467	FY22Q1-Q3：アリババ（関連会社から除外後）-9,480億円
過年度計上額のうち実現損益への振替額	4,150	-106	
投資に係るデリバティブ関連損益	-42	1,555	FY22Q1-Q3：Tモバイル株式に係る条件付対価*の公正価値の増加 +1,476億円
為替換算影響額	100	—	
その他	138	140	
販売費及び一般管理費	-624	-442	
財務費用	-2,092	-3,172	SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息：+1,140億円 yoy（主にアリババ株式の早期現物決済に伴い先渡契約金融負債に係る未償却原価を一括償却した影響）
為替差損益	-2,751	-7,254	FY22Q1-Q3：円安の影響（詳細はp23-24参照）
持分法による投資損益	2,217	-247	FY22Q1-Q3：アリババに係る持分法投資損失（関連会社から除外まで）-254億円
デリバティブ関連損益（投資損益を除く） 主にアリババ株式の先渡売買契約の影響	11,067	6,311	FY22Q1-Q3：アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益 5,491億円
その他の損益	1,755	-876	
<b>セグメント利益（税引前利益）</b>	<b>9,730</b>	<b>31,318</b>	

\*Sprint Corporation/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp15参照。

# Tモバイル株式の資金化

取引内容	調達額 (億米ドル)	実行時期	所有株式数 (百万株)	
			Tモバイル株式	ドイツテレコム株式
a Tモバイル株式106.3百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	43.8	2020年7月		
2021年6月末現在の所有株式数			106.3	—
b Tモバイル株式17.9百万株を利用した先渡売買契約による資金調達	18.1	2021年9月		
c Tモバイル株式43.0百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	26.5			
d bおよびcで得た資金を用いてaの借入を返済	-43.8			
e Tモバイル株式45.4百万株を担保とした満期60日間の借入 (ブリッジ・ローン)	12.5			
f ドイツテレコムによるコールオプションの一部行使に伴い、Tモバイル株式45.4百万株をドイツテレコムに売却し、その対価としてドイツテレコム株式225.0百万株を受領	—		-45.4	225.0
2021年9月末現在の所有株式数			60.9	225.0
g ドイツテレコム株式225百万株を利用したカラー取引による資金調達	30.4*	2021年10月		
h gで得た資金の一部を用いてeの借入を返済	-12.5			
2021年12月末現在の所有株式数			60.9	225.0
i Tモバイル株式6.9百万株を利用した先渡売買契約による資金調達	6.8	2022年3月		
j iで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-5.9			
2022年3月末現在の所有株式数			60.9	225.0
k ドイツテレコムによるコールオプションの一部行使に伴い、Tモバイル株式21.2百万株をドイツテレコムに売却し、その対価として24.0億米ドルを受領	24.0	2022年4月		
l kで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-12.0			
2022年6月末現在の所有株式数			39.8	225.0
m cの借入の残額を全額返済	-8.7	2022年8月		
2022年9月末現在の所有株式数			39.8	225.0
2022年12月末現在の所有株式数			39.8	225.0

\*調達額のユーロ換算額は26.4億ユーロ。

# Tモバイル株式：当社所有株式数（ドイツテレコム保有のコールオプション未行使分を含む）および公正価値

- 2022年4月、ドイツテレコムがコールオプションを一部行使し、当社はTモバイル株式21.2百万株を売却

(行使されたコールオプションの株数)

- 固定オプション：11.8百万株
  - 変動オプション：9.3百万株
- (上記の公正価値)
- FY21末：2,715百万米ドル
  - 売却時：2,758百万米ドル

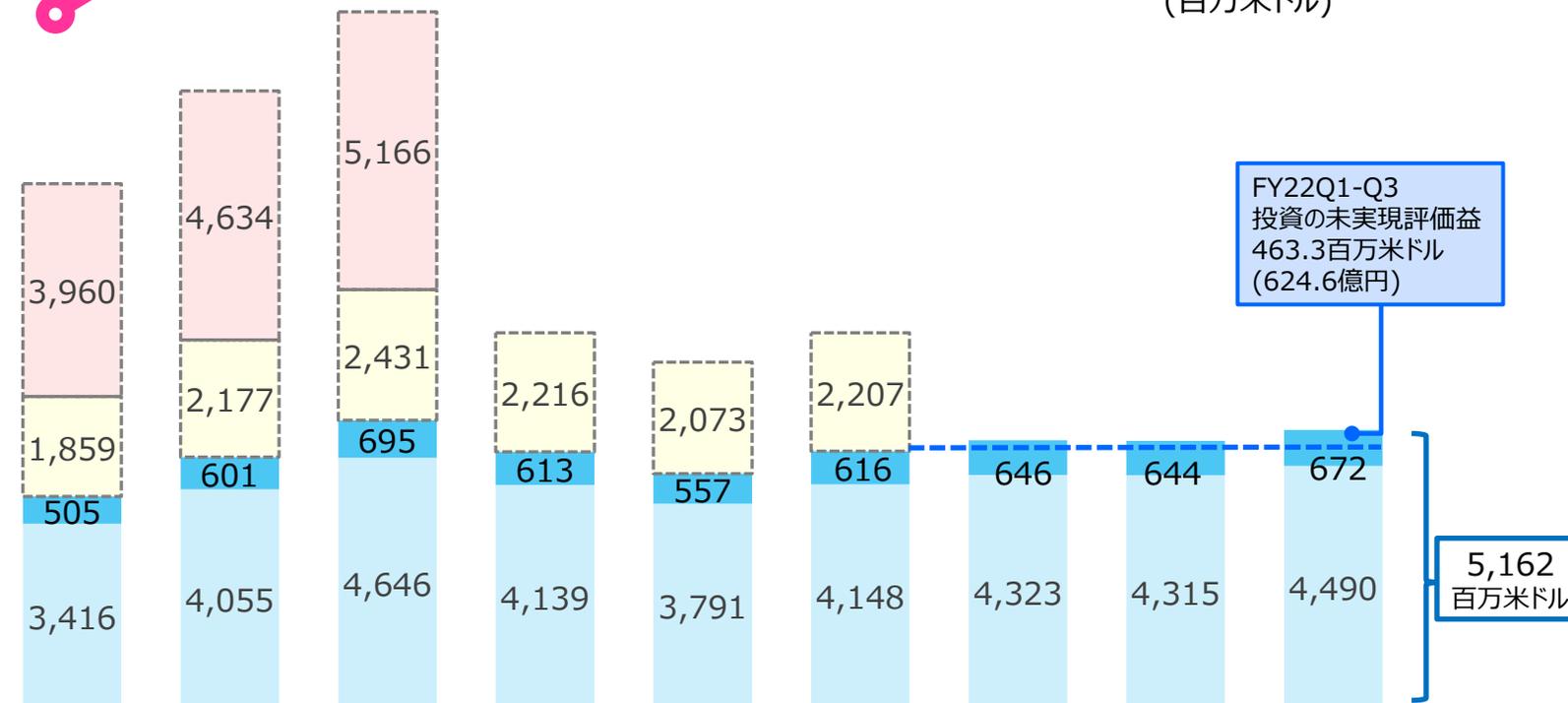
- FY22Q3末時点の当社所有Tモバイル株式数：39.8百万株（下記(i)+(ii)）
- (i) ドイツテレコム保有のコールオプション（未行使分）：35.0百万株  
(固定：6.7百万株、変動：28.2百万株)
- (ii) 同オプション対象外：4.8百万株

FY20		FY21				FY22		
6/26	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末



## 公正価値

- (i) Tモバイル株式（オプション未行使分）  
(デリバティブ金融負債の公正価値控除後)
- (ii) Tモバイル株式（オプション対象外)
- FY21Q2売却分（デリバティブ金融負債含む）
- FY22Q1売却分（デリバティブ金融負債含む）



FY22Q1-Q3  
投資の未実現評価益  
463.3百万米ドル  
(624.6億円)

5,162  
百万米ドル

ドイツテレコム保有コールオプション対象株数 (百万株)	101.5	101.5	101.5	56.1	56.1	56.1	35.0	35.0	35.0
同オプション対象外株数 (百万株)	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
合計 (百万株)	106.3	106.3	106.3	60.9	60.9	60.9	39.8	39.8	39.8

# ドイツテレコム株式：当社所有株式数および公正価値

2021年9月、Tモバイル株式売却  
の対価として当社はドイツテレコム  
株式225.0百万株を取得

FY21				FY22		
9月取引時	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末

## ドイツテレコム株価



## 公正価値

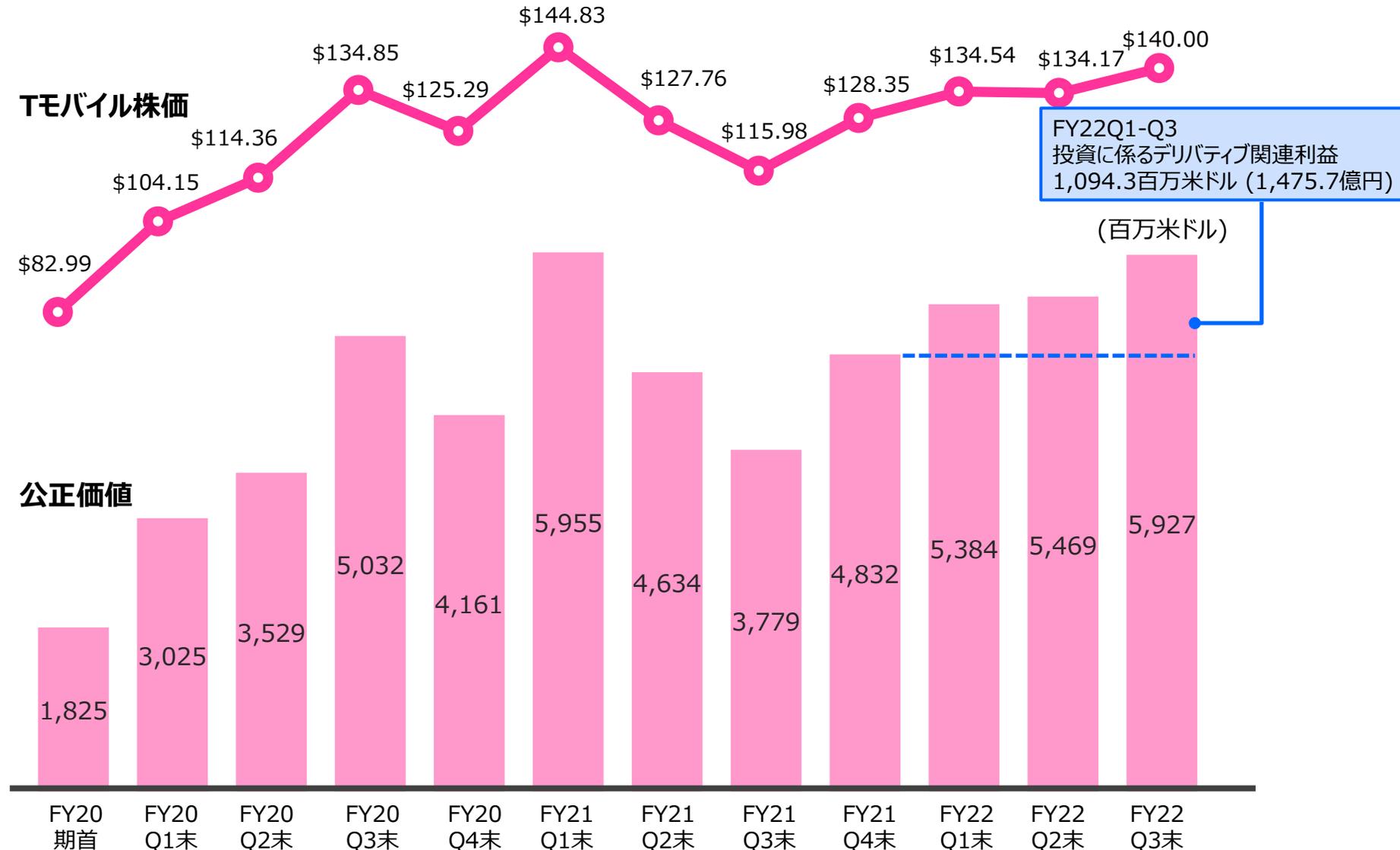


ドイツテレコム株式 (百万株)	225.0	225.0	225.0	225.0	225.0	225.0	225.0
-----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

# Tモバイル株式：条件付対価の公正価値

(参考) 2023年2月3日終値：\$145.19

- 条件付対価：**  
 一定の条件を満たした際に、当社がTモバイル株式**48.8百万株**を無償で取得できる権利
- 取得条件：**  
 2022年4月1日から2025年12月31日の間におけるTモバイル株式の45日間のVWAP (出来高加重平均価格)  $\geq$  **150米ドル**



# WeWorkに対する貸付、保証および貸付枠

市場で流通しているWeWork社債の信用スプレッドが悪化したことなどにより予想信用損失が増加

(単位：百万米ドル)

		四半期B/S		四半期P/L	
		計上科目	FY22Q3末 帳簿価額 (マイナスは負債)	計上科目 (注記の内訳)	FY22Q1-Q3 計上額
①	SBGが保有する額面\$1.65Bの WeWork無担保債券	その他の金融資産 (非流動)	544	その他の損益 (貸倒引当金繰入額)	-790
②	金融機関からWeWorkへの 最大\$1.457Bの支払保証枠に対する SBGとSVF2のクレジットサポート	その他の金融負債 (流動)	-855	その他の損益 (金融保証契約損失評価引当 金繰入額)	-735
③	SVF2によるWeWork担保付シニア債券 買受コミットメント	その他の金融負債 (流動)	-251	その他の損益 (ローンコミットメント損失評価 引当金繰入額)	-251
④				合計	-1,777 (-2,506億円)

<セグメント内訳>

持株会社投資事業：-1,684百万米ドル (-2,375億円)

SVF事業：-93百万米ドル (-131億円)

# 連結P/L総括 IFRSベース

(億円)

P/L項目	FY21 Q1-Q3	FY22 Q1-Q3	増減
売上高	+45,808	+48,758	+2,949
売上総利益	+24,770	+25,791	+1,022
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	+160	+36,996	+36,836
SVF事業からの投資損益	-6,291	-50,068	-43,776
その他の投資損益	+614	-540	-1,154
<b>投資損益合計</b>	<b>-5,518</b>	<b>-13,612</b>	<b>-8,094</b>
販売費及び一般管理費	-18,494	-19,211	-717
財務費用	-2,828	-4,335	-1,507
為替差損益	-2,774	-7,280	-4,506
持分法による投資損益	+2,037	-706	-2,744
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	+11,042	+6,196	-4,846
SVFにおける外部投資家持分の増減額	+1,707	+11,458	9,751
その他の損益	+2,404	-1,201	-3,605
<b>税引前利益</b>	<b>+12,347</b>	<b>-2,900</b>	<b>-15,248</b>
法人所得税	-5,854	-4,682	+1,172
<b>純利益</b>	<b>+6,493</b>	<b>-7,582</b>	<b>-14,075</b>
<b>親会社の所有者に帰属する純利益</b>	<b>+3,926</b>	<b>-9,125</b>	<b>-13,051</b>

(+ : 利益にプラス、- : 利益にマイナス)

## 持株会社投資事業からの投資損益 (連結) +3兆6,996億円

(詳細はp11参照)

- ・アリババ株式先渡売買契約決済関連利益 : +4兆8,383億円
- ・アリババの株価下落などに伴う投資の未実現評価損失 : -9,555億円

## SVF事業からの投資損益 (連結) -5兆68億円 (詳細はp9参照)

- ・未実現評価損失 (純額) SVF1 -2兆528億円、SVF2 -2兆3,224億円
- ・実現損益 (純額) SVF1 +481億円、SVF2 -27億円

## 財務費用 -4,335億円

持株会社投資事業において支払利息が増加 (詳細はp11参照)

## 為替差損益 -7,280億円

円安の影響 (詳細はp23-24参照)

(参考) 為替換算差額の増加額 (連結B/S) : +1兆2,276億円 (p24参照)

## 持分法による投資損益 -706億円

アリババに係る持分法投資損失 : -254億円

## デリバティブ関連損益 (投資損益を除く) +6,196億円

アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益 : +5,491億円

## 法人所得税 -4,682億円

- ・SBKKやヤフーで法人所得税を計上
- ・SBG、アリババ株式を利用した資金調達子会社と関連する中間持株会社 (いずれも当社100%子会社) において法人所得税2,999億円を計上

# 連結B/S総括 IFRSベース - 1

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/12月末	増減
		<b>100,286</b>	<b>95,408</b>	<b>-4,878</b>
流動資産	現金及び現金同等物	51,690	57,781	+6,091
	デリバティブ金融資産	10,504	1,235	-9,269
	その他の金融資産	9,711	5,090	-4,621
	その他の流動資産	3,341	2,759	-582
		<b>375,161</b>	<b>328,024</b>	<b>-47,136</b>
非流動資産	有形固定資産	18,427	17,176	-1,251
	のれん	48,979	51,703	+2,724
	無形資産	24,276	24,239	-36
	持分法で会計処理されている投資	52,345	7,494	-44,852
	SVFからの投資 (FVTPL)	149,096	108,568	-40,529
	SVF1	83,653	62,433	-21,220
	SVF2	54,011	37,918	-16,093
	LatAmファンド	11,432	8,217	-3,215
	投資有価証券	30,854	68,540	+37,687
	デリバティブ金融資産	13,338	13,571	+233
その他の金融資産	22,306	21,177	-1,129	
	<b>資産合計</b>	<b>475,447</b>	<b>423,432</b>	<b>-52,014</b>

**1 現金及び現金同等物 5兆7,781億円 (+6,091億円)**  
 SBG 2兆8,960億円 (+3,934億円)

アリババ株式先渡し売買契約に係るデリバティブ金融資産の減少：-1兆336億円(前期末残高を全て決済したことにより減少)

SB Northstarにおける事業規模の縮小の影響：拘束性預金 -1,315億円、資産運用子会社からの投資 -1,264億円、資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産：-483億円

アーム +2,439億円 (対米ドルの為替換算レートが前期末から円安となった影響)

**2 アリババ連結簿価の減少：-4兆5,721億円 (持分法適用関連会社からの除外)**

**3 SVFからの投資 (FVTPL) 10兆8,568億円 (-4兆529億円)**

- ・SVF1 -2兆1,220億円  
(公正価値減少：-153.5億米ドル、売却：-63.8億米ドル、投資：+4.2億米ドル)
- ・SVF2 -1兆6,093億円  
(公正価値減少：-174.2億米ドル、売却：-5.3億米ドル、投資：+23.4億米ドル)
- ・LatAmファンド -3,215億円  
(公正価値減少：-33.7億米ドル、売却：-0.6億米ドル、投資：+2.8億米ドル)

期末日の対米ドルの為替換算レートが8.4%円安となったことによる帳簿価額の増加を含む

**4 投資有価証券 6兆8,540億円 (+3兆7,687億円)** (詳細はp19参照)

Tモバイル株式に係る条件付対価\*の公正価値増加：+1,950億円

\*Sprint Corporation/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp15参照。

# 連結B/S 投資有価証券 (主な投資先)

(億円)

	2022/ 3月末	2022/ 12月末	増減	摘要
<b>投資有価証券</b>	<b>30,854</b>	<b>68,540</b>	<b>37,687</b>	
<b>FVTPL</b>	<b>25,876</b>	<b>64,315</b>	<b>38,439</b>	
アリババ	—	41,486 (\$31,263M)	+41,486 (+ \$31,263M)	FY22Q2にアリババ株式の帳簿価額4兆4,848億円を新たに計上後、FY22Q3にアリババ株式先渡売買契約の一部を現物決済したことなどにより、FY22Q3時点で保有するアリババ株式の帳簿価額は4兆1,486億円となった
Tモバイル	9,571 (\$7,820M)	7,389 (\$5,568M)	-2,182 (- \$2,252M)	ドイツテレコムがTモバイル株式を対象とするコールオプションを一部行使したことに伴い、保有するTモバイル株式21.2百万株をドイツテレコムへ売却
ドイツテレコム	5,180 (\$4,232M)	5,936 (\$4,473M)	+756 (+ \$241M)	ドイツテレコム株式の株価上昇および円安により、帳簿価額が増加
SoFi Technologies	1,102	—	-1,102	FY22Q2に全売却
Lemonade	387	218	-169	公正価値減少
NVIDIA	351	204	-147	公正価値減少
その他	9,286	9,083	-203	
<b>FVTOCI等</b>	<b>4,977</b>	<b>4,225</b>	<b>-752</b>	PayPay銀行が保有する公社債を含む

(注)

- ・FY22Q1にラテンアメリカ・ファンド事業をソフトバンク・ビジョン・ファンド事業へ統合したことに伴い、これまで投資有価証券として計上していたLatAmファンドからの投資を「SVFからの投資 (FVTPL) 」として遡及修正している。
- ・期末日の対米ドルの為替換算レートが8.4%円安となったことによる帳簿価額の増加を含む。

# 連結B/S のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2022/ 3月末	2022/ 12月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
のれん*		48,979	51,703				
	アーム	28,981	31,421	—	2,440	—	
	SBKK	9,075	9,075	—	—	—	
	LINE	6,306	6,295	—	—	—	
	ZOZO	2,129	2,129	—	—	—	
主な無形資産	テクノロジー	3,577	3,536				
	主な内訳						
	アーム	3,577	3,536	-350	309	—	定額法 償却年数：8-20年
	顧客基盤	6,286	6,103				
	主な内訳						
	ZOZO	2,906	2,809	-98	—	—	定額法 償却年数：18-25年
	LINE	2,175	2,075	-100	—	—	定額法 償却年数：12-18年
	アーム	933	909	-105	81	—	定額法 償却年数：13年
商標権	5,439	5,433					
マネジメント契約	282	191					
	フォートレス	282	191	-114	23	—	定額法 償却年数：5-10年

\*SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない。ただし、アームはFY20の組織構造変更の結果、アーム事業に再配分された金額。

# 連結B/S総括 IFRSベース - 2

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/12月末	増減
流動負債		123,815	91,866	-31,948
	有利子負債	73,289	38,711	-34,578
	リース負債	2,402	2,025	-378
	銀行業の預金	13,314	14,504	+1,191
	営業債務及びその他の債務	19,689	23,447	+3,758
	デリバティブ金融負債	1,196	575	-620
	その他の金融負債	5,548	4,923	-625
	未払法人所得税	1,834	1,051	-783
	その他の流動負債	6,203	5,981	-221
非流動負債		234,554	225,630	-8,924
	有利子負債	141,286	142,305	+1,020
	リース負債	6,259	6,407	+148
	SVFにおける外部投資家持分	56,405	45,320	-11,085
	デリバティブ金融負債	1,740	3,649	+1,909
	その他の金融負債	1,298	643	-656
	繰延税金負債	24,360	23,227	-1,133
その他の非流動負債	2,126	2,430	304	
<b>負債合計</b>		<b>358,369</b>	<b>317,497</b>	<b>-40,873</b>

**1 SBG**

**借入金 (流動+非流動) : -8,861億円**

- ・コミットメントラインを使用した借入金の返済 : -45.0億米ドル
- ・シニア・ローン全額返済 : -3,252億円 (うち期限前返済2,927億円)

**社債 (流動+非流動) : -1,970億円**

- ・買入れ : 外貨建て普通社債7.8億米ドルと12.4億ユーロ (額面総額)
- ・満期償還 : 外貨建て普通社債5.1億米ドルと1.9億ユーロ、国内普通社債3,370億円 (額面総額)
- ・発行 : 国内普通社債3,850億円 (額面総額)

**資金調達を行う100%子会社**

**借入金 (流動+非流動) : -8,076億円**

- ・アリババ株式を利用したマージン・ローンの全額返済 : -60.0億米ドル
- ・FY21に借り入れたTモバイル株式を活用したマージン・ローンの返済 : -20.6億米ドル
- ・アーム株式を利用したアセットバック・ファイナンスの借入による増加 : +5.0億米ドル (純額)

**株式先渡契約金融負債 (流動+非流動) : -1兆6,850億円**

一部現物決済による減少

**ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業**

**借入金 (流動+非流動) : +2,427億円**

- ・SVF1 アセットバック・ファイナンスによる借入金の増加 : +14.3億米ドル
- ・円安影響 : 期末日の対米ドルの為替換算レートが8.4%円安となったことによる借入金の残高の増加

**2 営業債務及びその他の債務 : +3,758億円**

PayPayにおける決済取扱高拡大に伴い加盟店に支払う未払金やユーザーからの預り金が増加

新たに契約したアリババ株式を利用した先渡売買契約の一部についてデリバティブ金融負債を計上

アリババ株式を利用した先渡売買契約について、デリバティブ金融資産の減少およびデリバティブ金融負債の増加に伴い、繰延税金負債が減少

(注) 有利子負債とリース負債の会社別内訳はFY22Q3決算短信p31参照。

# 連結B/S総括 IFRSベース - 3

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/12月末	増減
		<b>117,078</b>	<b>105,936</b>	<b>-11,142</b>
資本合計	資本金	2,388	2,388	—
	資本剰余金	26,346	26,526	+180
	その他の資本性金融商品*	4,969	4,141	-828
	利益剰余金	45,157	34,910	-10,247
	自己株式	-4,064	-14,545	-10,480
	その他の包括利益累計額	24,962	36,667	+11,705
	親会社の所有者に帰属する持分合計	99,757	90,087	-9,670
	非支配持分	17,321	15,849	-1,472
<b>親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)</b>		<b>21.0%</b>	<b>21.3%</b>	<b>+0.3%</b>

① 米ドル建ノンコール6年永久劣後特約付社債(ハイブリッド社債)の一部を買入れ：7.5億米ドル (額面総額)

② 親会社の所有者に帰属する純損失：-9,125億円

③ 2021年11月および2022年8月の取締役会決議に基づく取得分：1兆554億円 (185,700,600株)

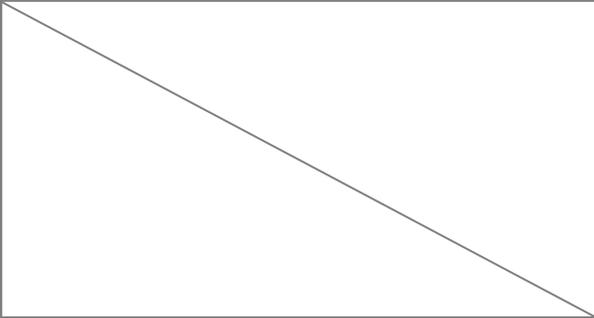
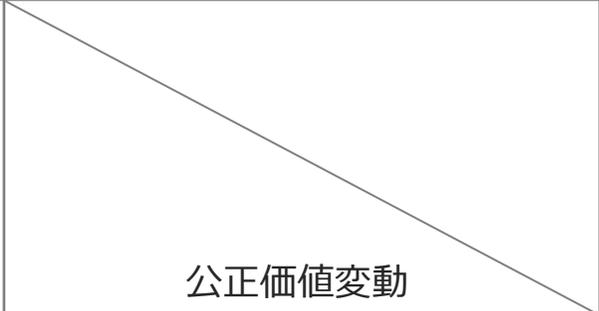
④

- ・アリババの持分法適用関連会社からの除外：-3,144億円
- ・円安の影響で在外営業活動体の為替換算差額が増加：+1兆2,276億円 (海外を拠点とする子会社・関連会社を円換算する際に生じる為替換算差額が、対米ドルの為替換算レートが円安となったことなどにより増加。詳細はp23-24参照)

(参考) FY22Q1-Q3の為替差損益 (連結P/L)：-7,280億円 (p17参照)

\*SBGが2017年7月に発行した米ドル建永久劣後特約付社債 (2022年10月に一部買入れ)。IFRS上資本性金融商品に分類。

# P/L・B/Sへの円安影響（概念図）

エンティティー	種別	P/L 為替差損益	B/S 為替換算差額
SBG単体+ 国内資金調達子会社	外貨建て現預金・ 貸付金 (投資を除く)	 為替差益 (p24参照)	
	外貨建て負債 (借入金・社債)	 為替差損 (p24参照)	
機能通貨が外貨の 在外子会社・関連会社 (例：SVF1/2 & LatAmファンド)	純資産 (プラス)	 公正価値変動	 為替換算差額 (p22参照)

# FY22Q1-Q3の円安影響

## FY22Q1-Q3 連結P/L 為替差損：7,280億円

SBG単体 グループ会社からの外貨建て借入に係る為替差損：9,008億円、外貨建て社債に係る為替差損：823億円 (ハイブリッド債含む)

(参考) SBG単体残高	FY21末 期末日レート：¥122.39/\$	FY22Q3末 期末日レート：¥132.70/\$
外貨建て負債 (借入金・社債) (グループ会社からの借入を含む)	\$89.7B	\$67.7B
外貨建て現預金・貸付金 (投資を除く)	\$32.6B (現預金\$18.2B、貸付金\$14.4B)	\$31.0B (現預金\$18.0B、貸付金\$13.0B)
ネット (負債)	\$57.1B	\$36.7B

## FY22Q3末 連結B/S 為替換算差額残高：36,754億円 (FY21末比+12,276億円)

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY21末 期末日レート：¥122.39/\$	FY22Q3末 期末日レート：¥132.70/\$	増減	連結B/S 為替換算差額増減 ((B) - (A) x FY22Q1-Q3の 期中平均レート ¥135.40/\$) *1
SVF1/2 & LatAmファンド (外部投資家持分および アーム株式簿価を控除後)	\$71.2B 87,201億円	\$42.3B 56,198億円	-\$28.9B <sup>(A)</sup> -31,003億円 <sup>(B)</sup>	+7,823億円
SBGC*2 (アーム株式簿価を控除後)	\$35.0B 42,862億円	\$33.3B 44,209億円	-\$1.7B <sup>(A)</sup> +1,347億円 <sup>(B)</sup>	+3,521億円
アーム	\$28.3B 34,665億円	\$28.7B 38,119億円	+\$0.4B <sup>(A)</sup> +3,454億円 <sup>(B)</sup>	+2,841億円

\*1 連結上の内部取引も考慮している。

\*2 SoftBank Group Capital Limited

# 連結C/F総括 IFRSベース

(億円)

C/F項目	FY21 Q1-Q3	FY22 Q1-Q3	増減	FY22Q1-Q3の主な内訳
営業活動によるCF	+24,090	+7,248	-16,841	+14,567 営業キャッシュ・フロー小計
				-5,845 法人所得税の支払額
				+1,098 法人所得税の還付額
投資活動によるCF	-28,436	+4,632	+33,068	-2,228 投資の取得による支出
				+5,845 投資の売却または償還による収入
				-3,846 SVFによる投資の取得による支出
				+6,811 SVFによる投資の売却による収入
				-4,996 有形固定資産及び無形資産の取得による支出
				+1,251 SPACにおける信託口座からの払戻による収入
財務活動によるCF	+3,110	-8,759	-11,869	+154 短期有利子負債の収支
				+64,859 有利子負債の収入
				-50,749 有利子負債の支出
				-4,656 SVFにおける外部投資家に対する分配額・返還額
				-1,251 償還オプション付非支配持分への返還による支出
				-1,046 その他の資本性金融商品の償還による支出
				-10,554 自己株式の取得による支出
				-701 配当金の支払額
				-2,860 非支配持分への配当金の支払額
現金及び現金同等物に係る換算差額	+796	+2,969		
現金及び現金同等物の増減額	-440	+6,091		
現金及び現金同等物の期首残高	+46,627	+51,690		
現金及び現金同等物の期末残高	+46,188	+57,781		

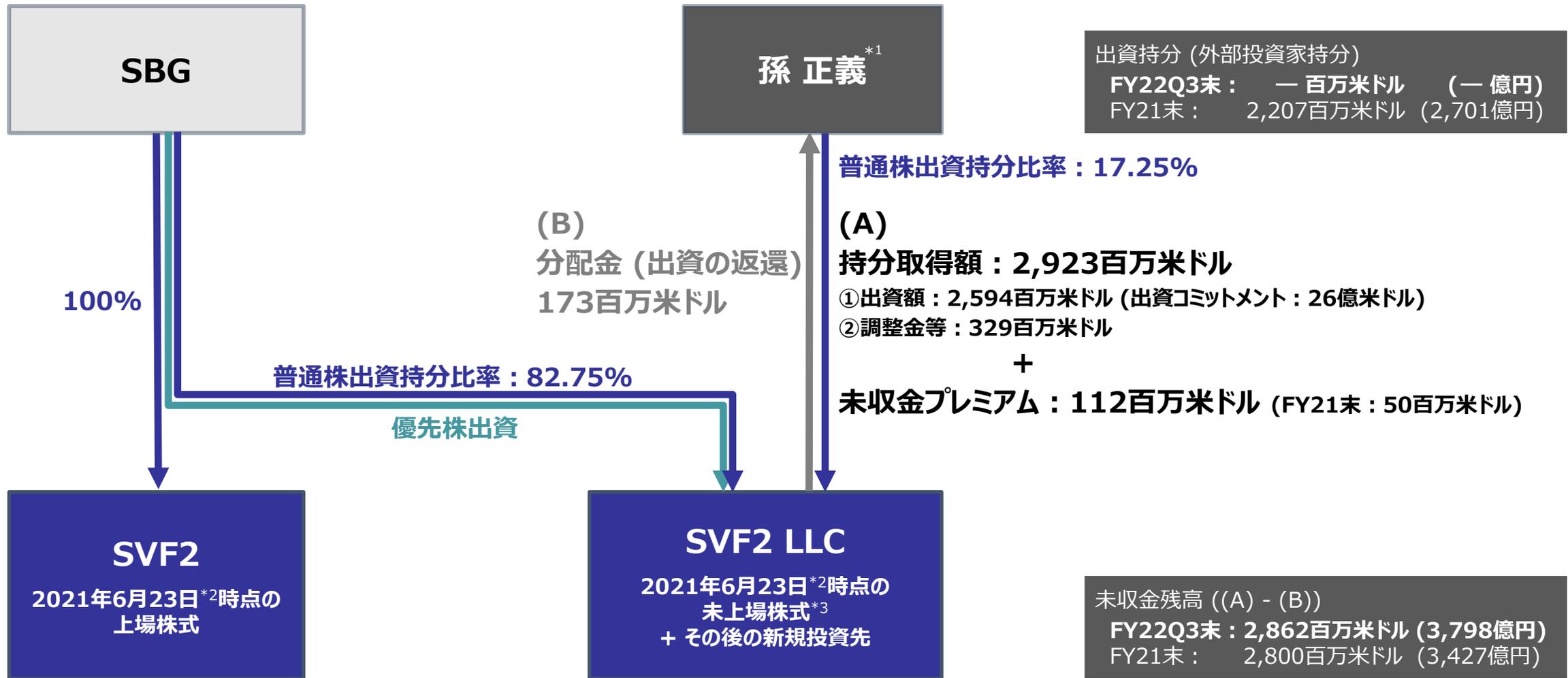
**営業CF -1兆6,841億円 yoy**  
 ・SB Northstarのキャッシュ・インフロー減少：-1兆7,914億円  
 ・法人所得税の支払額（キャッシュ・アウト・フロー）減少：+2,545億円  
 FY21Q1-Q3に、FY20にソフトバンクグループジャパンで生じたSBKK株式売却益を含む課税所得に基づく法人税の支払額を計上

**投資の売却または償還による収入 +5,845億円**  
 ・ドイツテレコムがTモバイル株式を対象とするコールオプションを一部行使したことに伴うTモバイル株式の売却：+3,097億円（+24.0億米ドル）  
 ・SoFi Technologies売却：+908億円（+6.5億米ドル）  
**SVFによる投資の取得による支出 -3,846億円**  
 ・SVF2 -3,272億円（-25.1億米ドル）、LatAmファンド -354億円（-2.7億米ドル）、SVF1 -219億円（-1.6億米ドル）  
**SVFによる投資の売却による収入 +6,811億円**  
 ・SVF1：+5,929億円（+43.9億米ドル）、SVF2：+863億円（+6.6億米ドル）  
**SPACにおける信託口座からの払戻による収入 +1,251億円**  
 ・当社がスポンサーとして設立したSPAC2社の運営停止に伴う、市場投資家からの出資金8.9億米ドルの信託口座からの払戻

**有利子負債の収入 +6兆4,859億円**  
 (SBG) 短期借入：+3,728億円  
 (資金調達を行う100%子会社)  
 ・アーム株式を利用したアセットバック・ファイナンスによる借入：+1,807億円（+14.0億米ドル）  
**アリババ株式先渡売買契約の締結 +3兆3,007億円（+244.2億米ドル）**  
 (SVF) SVF1のアセットバック・ファイナンスによる借入：+5,807億円（+45.0億米ドル）  
**有利子負債の支出 -5兆749億円**  
 (SBG) 短期借入金返済：-9,203億円、シニア・ローン全額返済：-3,252億円  
 (資金調達を行う100%子会社)  
 ・アリババ株式を利用したマージン・ローン全額返済：-7,978億円（-60.0億米ドル）  
 ・FY21に借り入れたTモバイル株式を活用したマージン・ローンの返済：-2,745億円（-20.6億米ドル）  
 ・アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入金返済：-1,161億円（-9.0億米ドル）  
 (SVF) アセットバック・ファイナンスによる借入金の返済：  
 ・SVF1 -3,973億円（-30.5億米ドル）、SVF2 -289億円（-2.2億米ドル）  
**償還オプション付非支配持分への返還による支出 -1,251億円**  
 ・当社がスポンサーとして設立したSPAC2社の運営停止に伴う、市場投資家からの出資金8.9億米ドルの返還

**補足：アリババ株式先渡売買契約の現物決済は非資金取引のため連結キャッシュ・フローへの影響なし**

# SVF2共同出資プログラム：関連当事者との取引



(注) 関連当事者との取引の詳細はFY22Q3決算短信p74-75参照。

\*1 孫正義以外の経営陣の参加は現時点では未決定だが、将来的に参加を予定。

\*2 2021年6月23日はSBG取締役会において本共同投資プログラムが条件付きで承認された日。

\*3 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く。

# 連結ベースの法人所得税の支払額（純額）

(億円)

	FY19	FY20	FY21
<b>連結ベース</b>	<b>6,363</b>	<b>4,455</b>	<b>5,893</b>
国内	5,752	3,105	5,512
SBG・国内持株会社	3,247	357	2,000
主にSBKK、ヤフー等の国内事業会社	2,505	2,748	3,512
海外	611	1,350	381

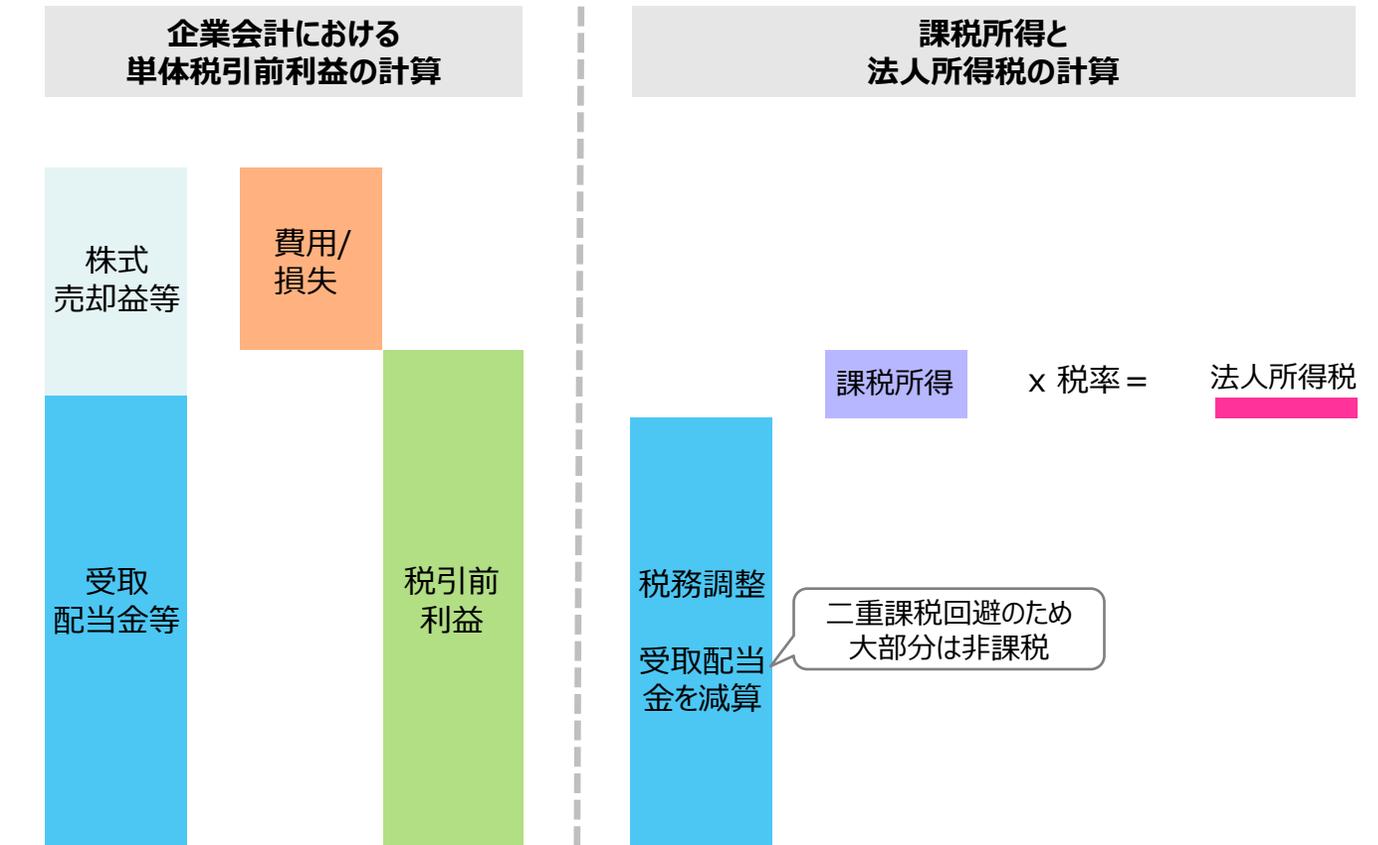
- (注)
- ・納税額と還付額の純額を記載。
  - ・法人所得税の支払額（連結）は、連結CFの「法人所得税の支払額」と「法人所得税の還付額」の純額に一致。

# 当社グループの税務の特徴

- 連結P/Lの利益はSBG単体の納税額と直接の結びつきなし
- SBG単体の営業収益の大半は関係会社からの受取配当金で、その大部分は非課税
- SVFの投資事業に係る税金は、日本をはじめとする関係各国の税制に従っている

詳細は当社ウェブサイトの[税務に対する取り組み](#)を参照。

SBG単体の税引前利益と法人所得税計算のイメージ図



(注) 繰越欠損金がある場合、課税所得を一部減額可能

# Appendix

- P/L : FY22Q2に税引前利益53,716億円を計上  
→ 顕在化していなかった含み益が会計上実現・顕在化
- B/S : 株式先渡金融負債を38,218億円 (275.7億米ドル) 削減

	計上額	連結P/L科目
<b>(a) 決済益</b> (本早期現物決済*1に係るアリババ株式先渡売買契約決済利益)	<b>5,848億円</b>	持株会社投資事業 からの投資損益
<b>(b) 再測定益</b> (アリババが関連会社から除外された時点で保有する同社株式の再測定益)	<b>39,967億円</b>	
<b>(c) デリバティブ利益</b> (本早期現物決済*1の対象となる先渡売買契約に係るデリバティブ利益)	<b>7,901億円</b>	デリバティブ関連利益 (投資損益を除く)
<b>合計 (税引前利益への影響)*2</b>	<b>53,716億円</b>	

\*1 2022年8-9月にかけて行った、アリババ株式を利用した先渡売買契約のうち242百万ADR (米国預託証券) を対象とした契約の早期現物決済。なお、当該期間に決済期限を迎えた一部の契約については決済期限時に現物決済を行った。

\*2 2022年8月10日付プレスリリースにおける試算の約4.6兆円との差異は、主に、(1)試算時の前提条件におけるアリババ株価 (91.19米ドル/ADR) と決済時の株価 (a および c) や関連会社から除外時の株価(b)、(2)試算時の為替換算レート (134.89円/米ドル) と実際の為替換算レート、それぞれの差異によるもの。

# 財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（ZホールディングスおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

# FY22Q3総括

## 守りの財務運営を継続。潤沢な手元流動性を維持

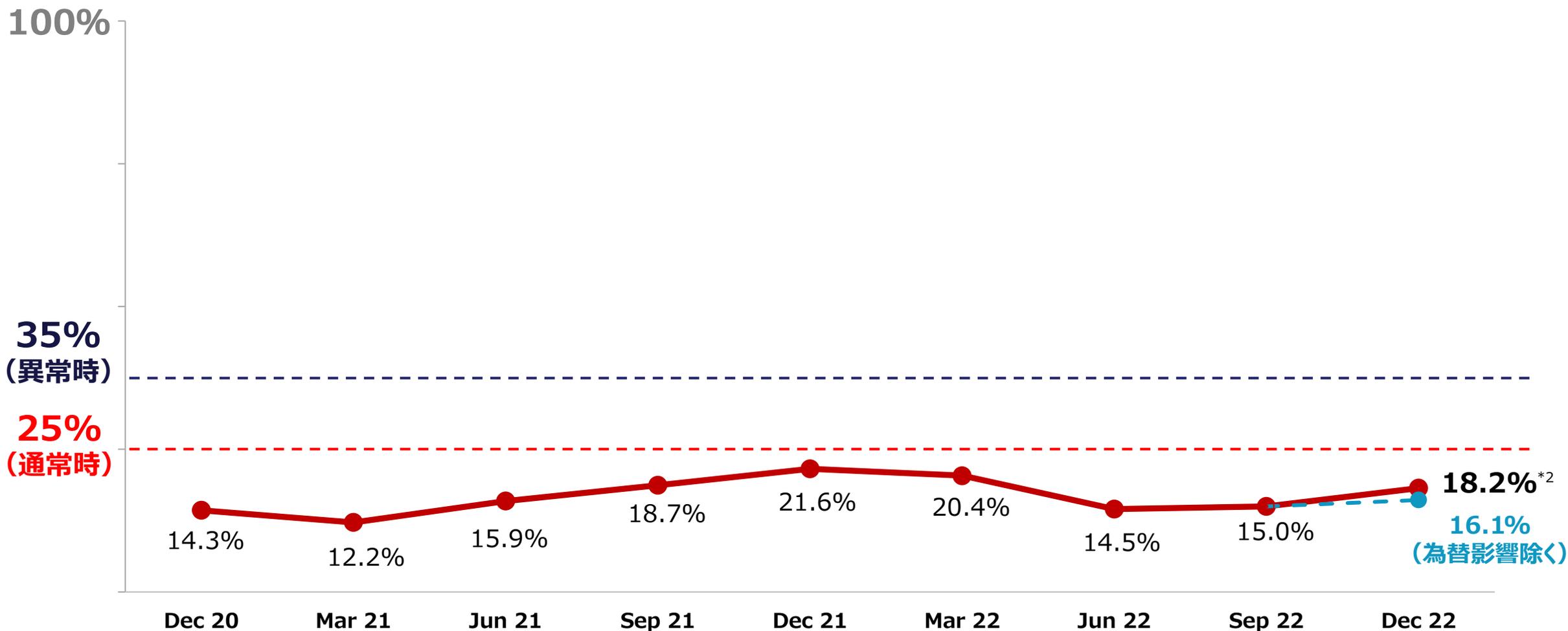
<p><b>NAV・LTV</b></p>	<p><b>NAV 13.9兆円</b> Q2比-2.9兆円（うち、為替影響-1.5兆円）  <b>LTV 18.2%</b> Q2比+3.2%（うち、為替影響+2.1%）  <b>手元流動性 3.8兆円</b>*1 Q2比-0.5兆円</p>
<p><b>財務活動</b></p>	<p><b>資金化および負債削減を継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 資金化：アセットバック・ファイナンス +\$6.1B</li> <li>- 調達：国内リテール債発行 +3,850億円</li> <li>- 返済：国内リテール債償還 -3,370億円              外債ハイブリッド・シニアのバイバック -\$2.3B              株式先渡売買契約の現物決済 -\$6.9B（-9,748億円相当）（アリババ）</li> </ul>
<p><b>株主還元</b></p>	<p><b>1.4兆円の自社株買いを完了</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2021年11月決議（取得枠：1兆円）：2022年10月17日全額取得完了</li> <li>- 2022年8月決議（取得枠：4,000億円）：2022年11月10日全額取得完了</li> </ul>

\*1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。2022年12月末のコミットメントライン未使用枠は6,460億円相当。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

# LTVの推移\*1

## 財務規律の範囲内でコントロール

アセットバック・ファイナンス除く



\*1 各四半期末時点の数値を記載

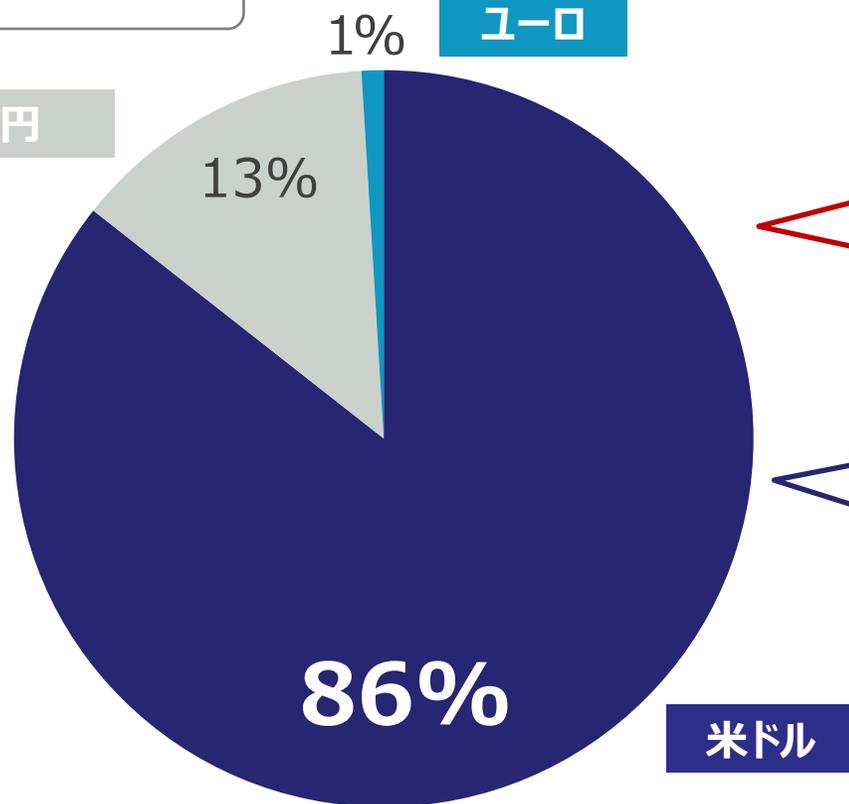
\*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

# 為替レートの変動による影響

保有株式価値に占める米ドルの割合は約9割。資金フローの大半は米ドル建て

## 保有株式価値\*1の通貨割合

アセットバック・ファイナンス除く



総額：  
16.9兆円

9月末~12月末為替影響(8%ドル安)  
NAV : -1.5兆円  
LTV : +2.1%

投資及び資金化は  
大半が米ドル建て

(注) 2022年12月末時点

\*1 保有株式価値の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」を参照

# FY22Q3の主な財務活動

保守的な財務運営を継続。資金化および社債のリファイナンスにも対応

社債	外債のバイバック（10月） （うち、ハイブリッド外債 \$750M）	-\$2.3B相当	(-3,197億円)
	国内リテールシニア債の償還（12月）	-\$2.4B相当	(-3,370億円)
	国内リテールシニア債の発行（12月）	+\$2.7B相当	(+3,850億円)
アセットを活用した 資金調達等	アリババ株式		
	フォワード取引	+\$6.1B	(+8,572億円)
	株式先渡売買契約の現物決済 (現金支出なし)	-\$6.9B	(-9,748億円)

(注) FY22Q3の平均レート等により円換算

# 手元流動性

## 社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を維持

### 手元流動性

3.8兆円<sup>\*1</sup>



Dec 2022

コミットメントライン未使用枠<sup>\*2</sup>

### 社債償還スケジュール

(億円)

### 今後2年間の社債償還 (1.4兆円)



\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

\*2 2022年12月末時点のコミットメントライン総額6,460億円相当は全額未使用

# 国内リテールシニア債の発行

2022年12月にシニア債のリファイナンスを実施。引き続き、幅広い個人投資家に販売

## 第19回 福岡ソフトバンクホークスbond

発行額	3,850億円 (償還額：3,370億円)
投資家	主に個人投資家
利率	2.84%
年限	7年

## 個人投資家販売件数

約**9.4**万件<sup>\*1</sup>

## 景品

お父さん応援隊長  
フェイスタオル  
(今治タオル<sup>\*2</sup>)



\*1 販売証券会社からのヒアリングをもとに当社集計

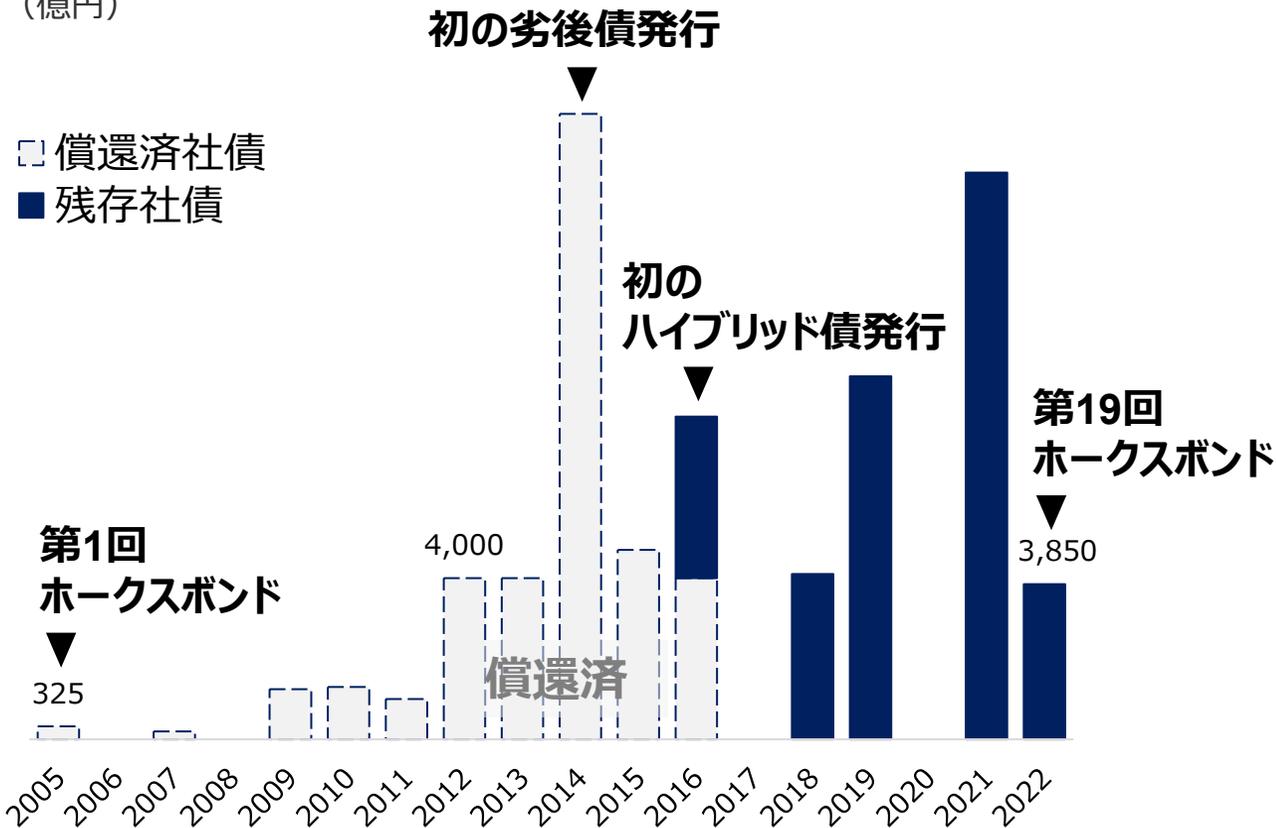
\*2 「今治タオル」は今治タオル工業組合の登録商標

# リテール債市場における当社の取り組み

## 多様な商品を継続提供し、国内リテール債市場を開拓・拡大

### 当社リテール債 発行額推移（年度別）

(億円)



累計発行額*1	7.1兆円
うち償還済	3.6兆円
既存保有者数*2	約51万人
のべ販売投資家数*3	約152万件

「貯蓄から投資へ」  
を牽引

\*1 2005年以降に発行したリテール債

\*2 既存保有者数はSBG社債保有口座のべ数の合算。販売証券会社からのヒアリングをもとに当社集計（2022年1月時点）

\*3 2013年度3月以降に発行したリテール債の個人投資家販売件数の合計（販売証券会社からのヒアリングによる）

# 国内リテール債の市場規模

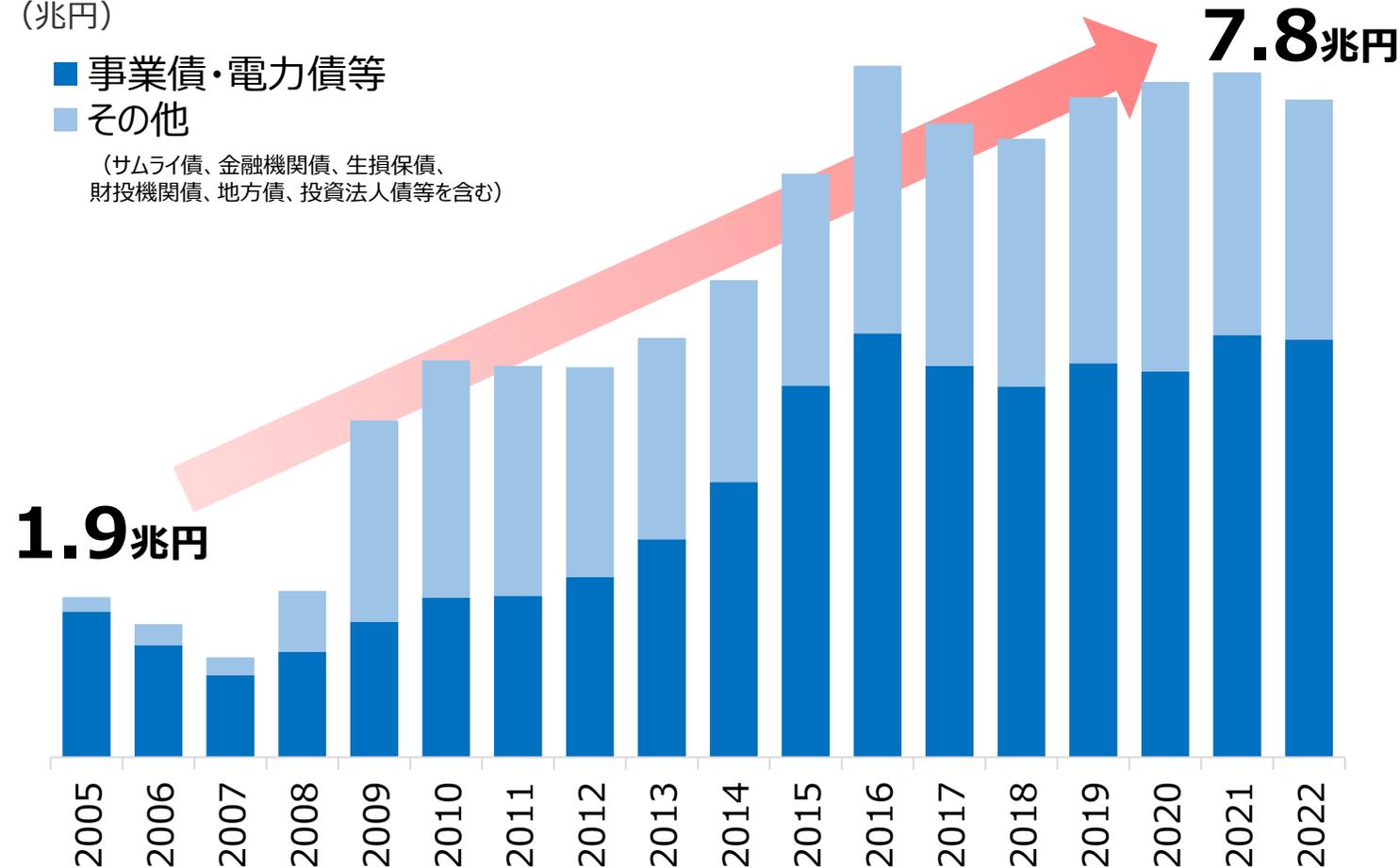
## リテール債市場が着実に拡大

### 国内リテール債(個人向け国債除く)の残高推移\*1

(兆円)

- 事業債・電力債等
- その他

(サムライ債、金融機関債、生損保債、  
財投機関債、地方債、投資法人債等を含む)



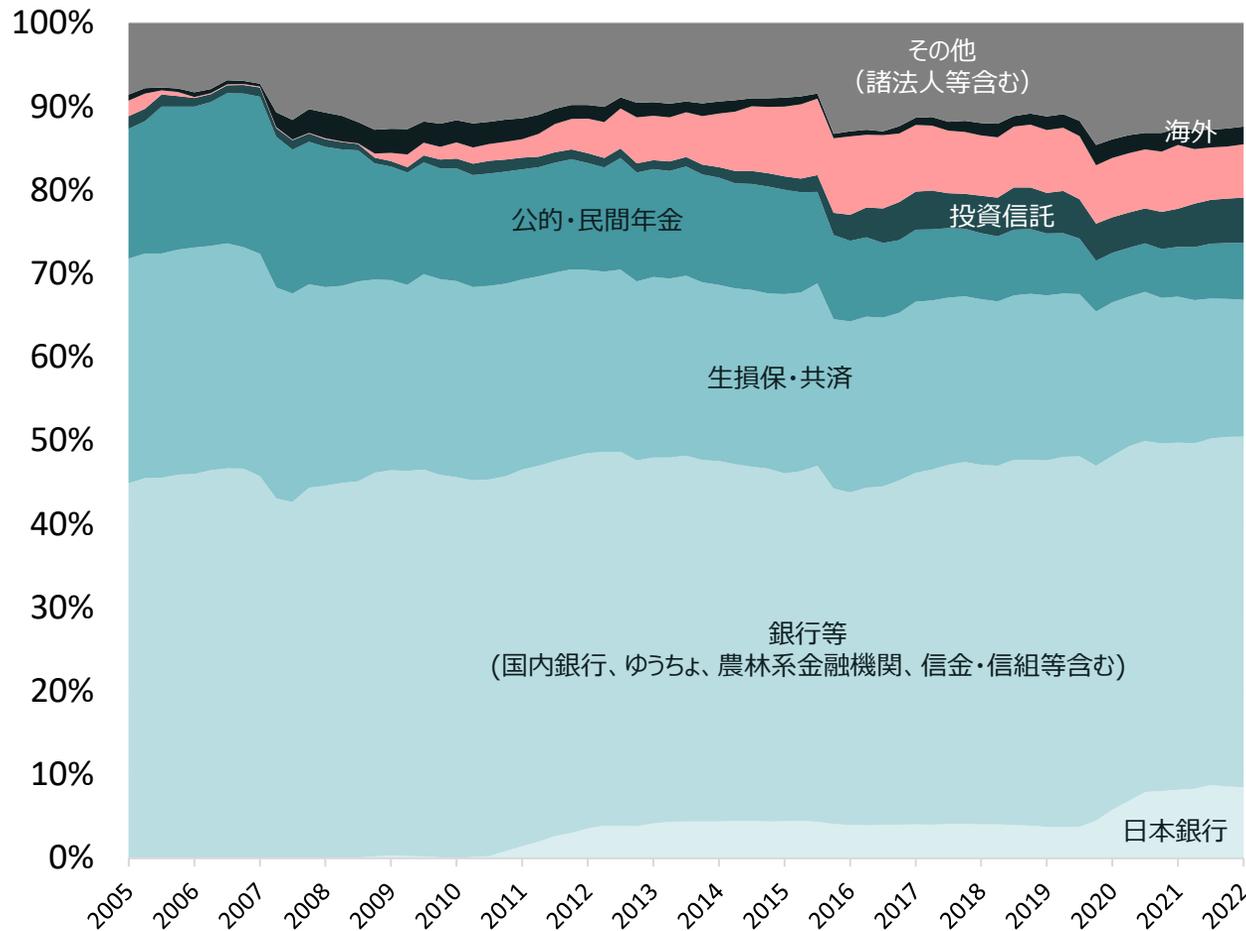
リテール債残高  
**4倍超**

\*1 Capital Eyeを含むベンダー情報をもとに当社集計。各年度9月時点

# 個人投資家による事業債の保有比率

## 個人投資家のリテール債投資は拡大

事業債の投資家別保有比率（2005年～）\*1



個人投資家 6.4%

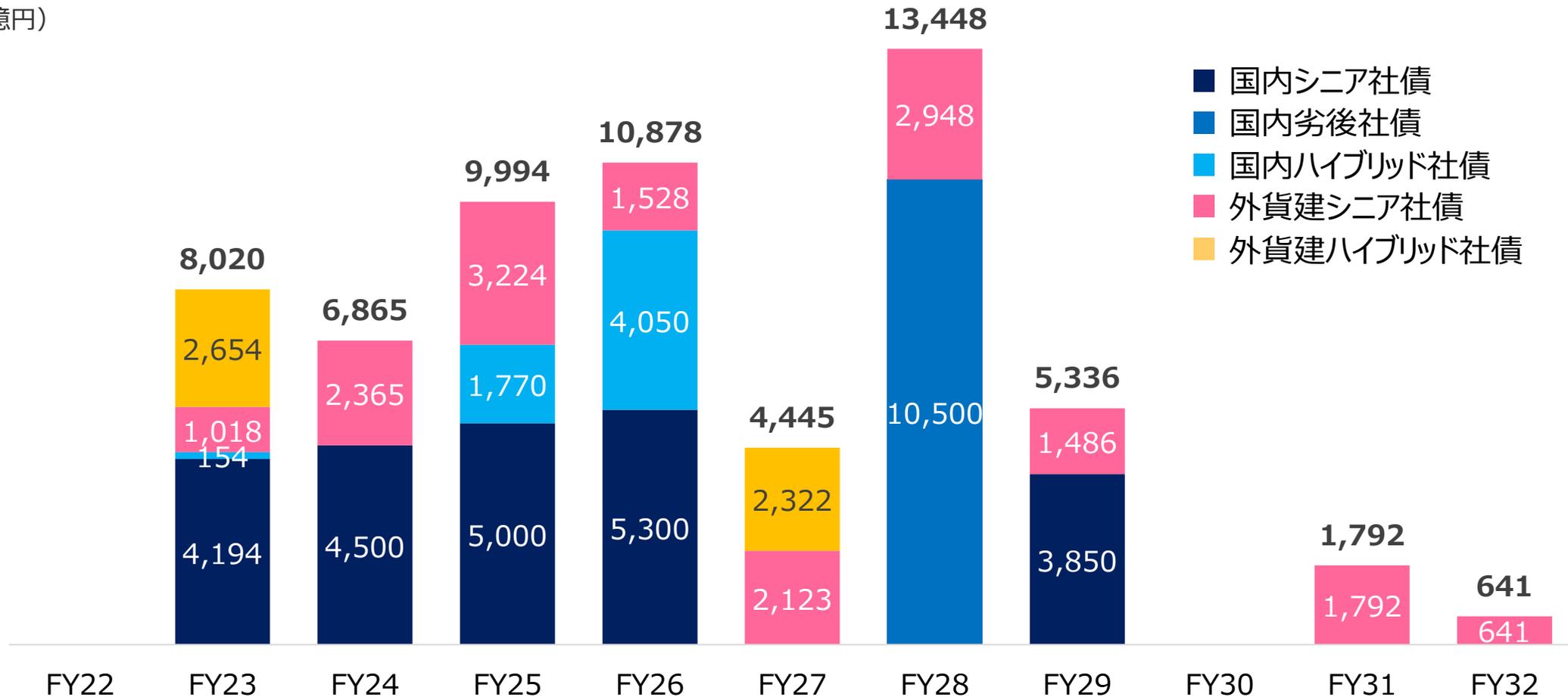
個人投資家比率は  
3倍超に上昇  
(2005年9月:1.8%対比)

\*1 日本銀行 資金循環統計より当社集計。2005年9月から2022年9月。「家計」の区分を個人投資家として読み替え。

# 社債償還スケジュール

## 手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)



(注)

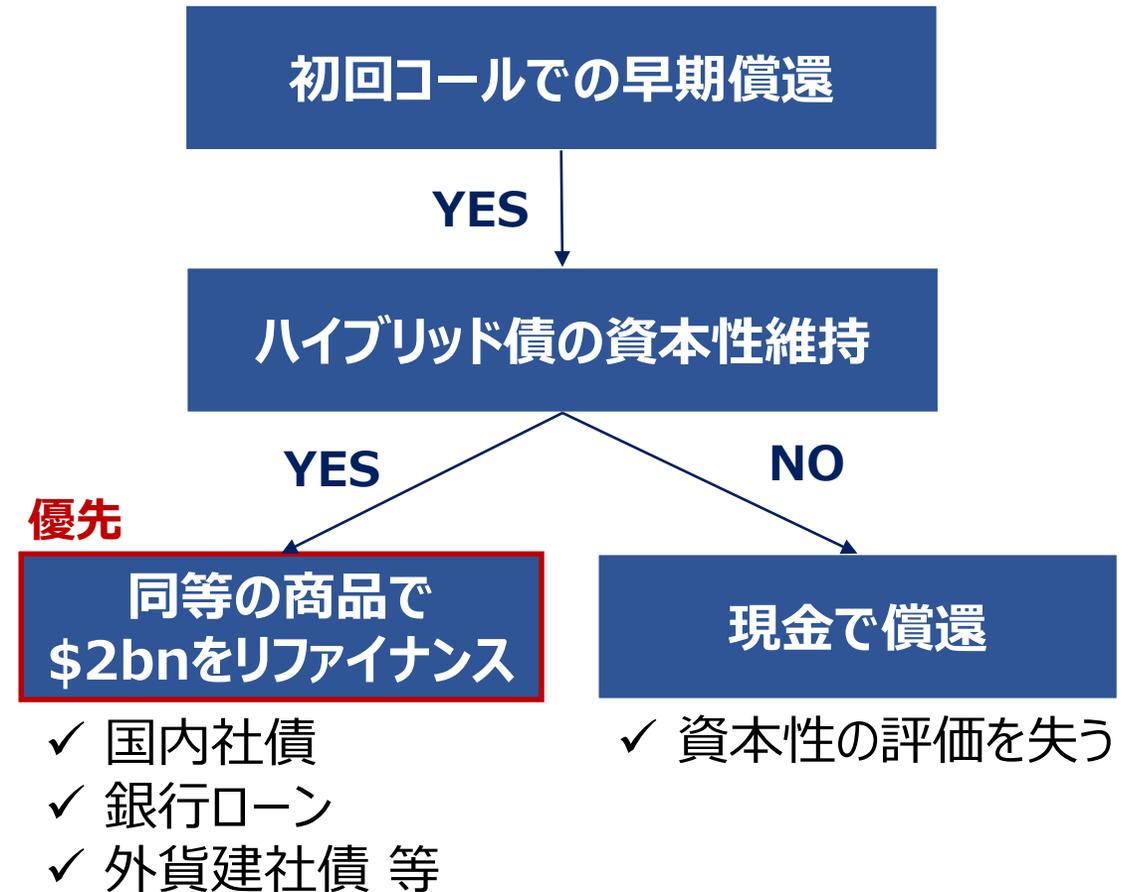
- 2022年12月末時点発行残高
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=132.70円、1ユーロ=141.47円にて換算

# 米ドル建てハイブリッド債初回コールの対応について

## リファイナンス対象ハイブリッド債

初回コール日	2023/7/19
発行残高	\$2.0B
利率	6.000%
満期	永久ノンコール6年
格付上の資本性	50% (S&P/JCR)

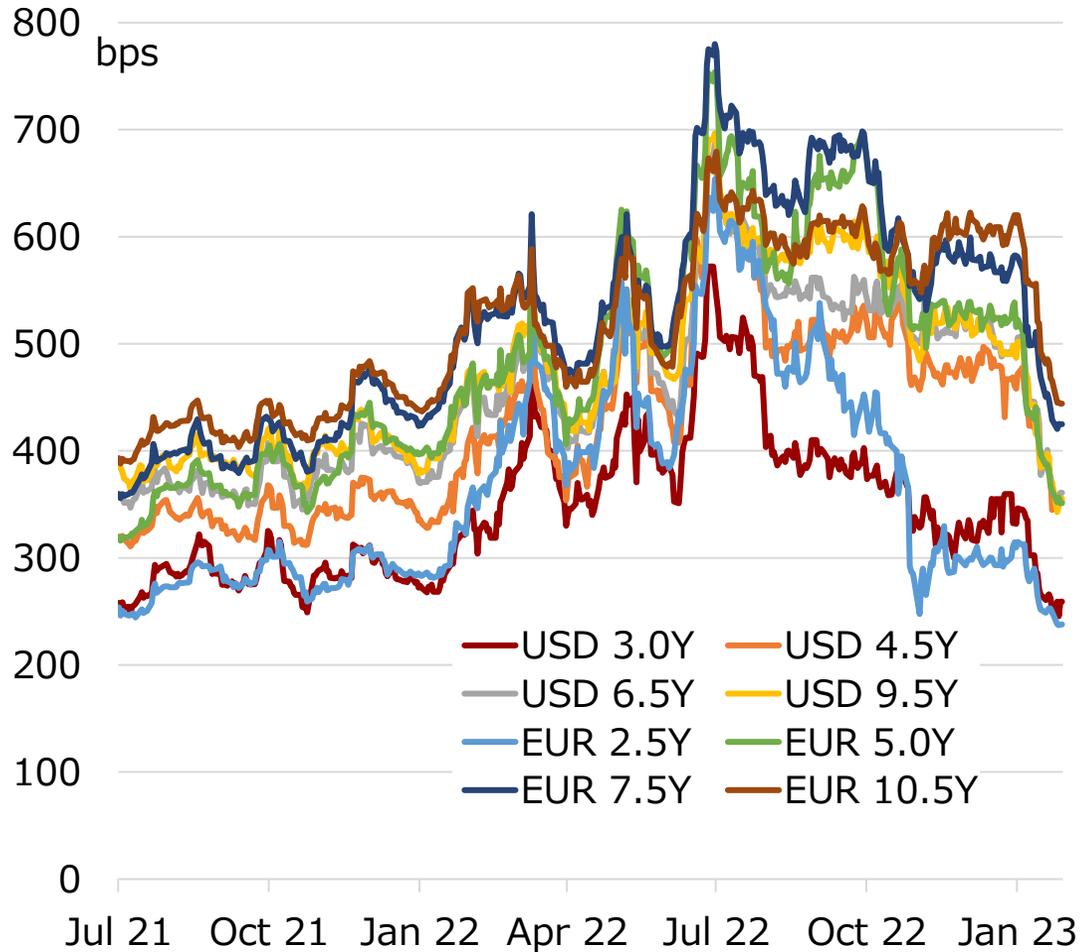
## リファイナンスの考え方



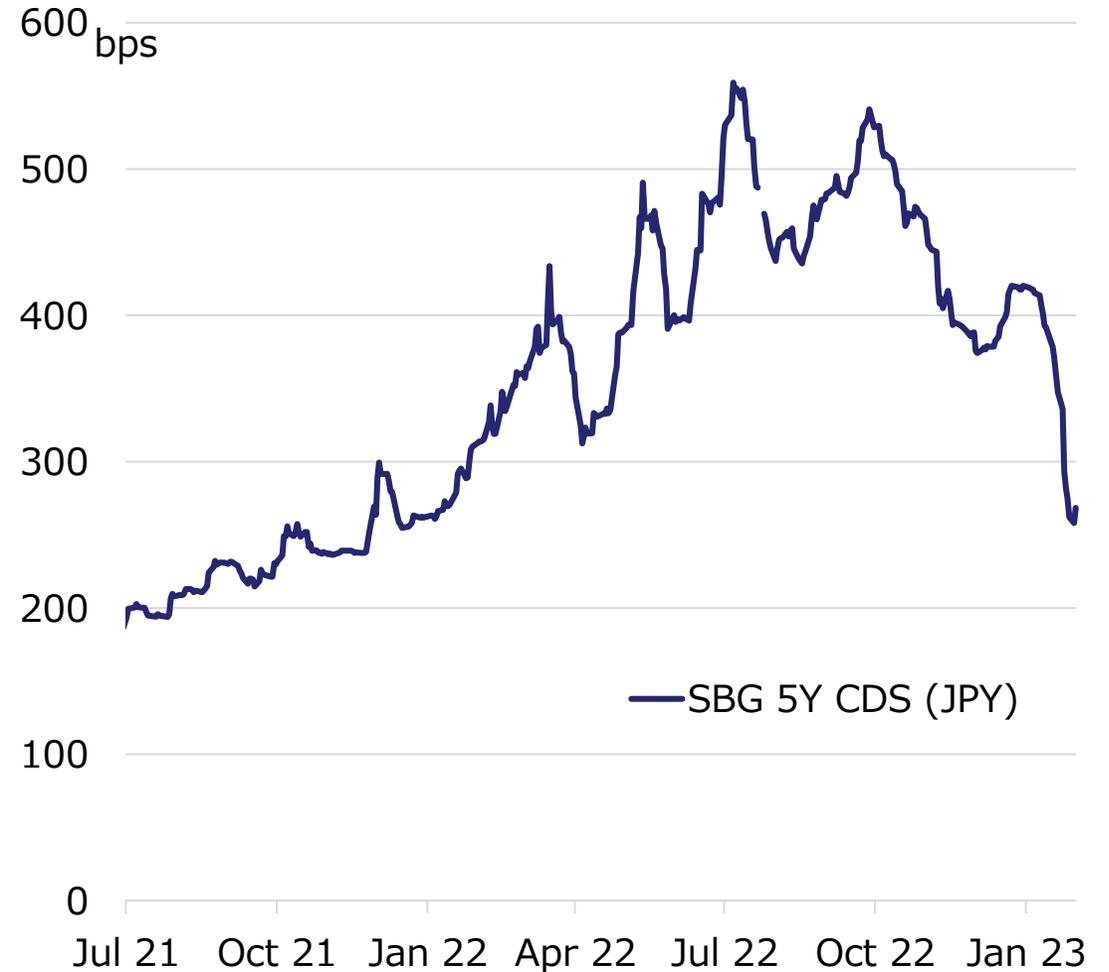
# 当社クレジットスプレッド

## 金利動向は沈静化。クレジットスプレッドは急速にタイト化

### SBG シニア外債スプレッド



### SBG 5年CDS

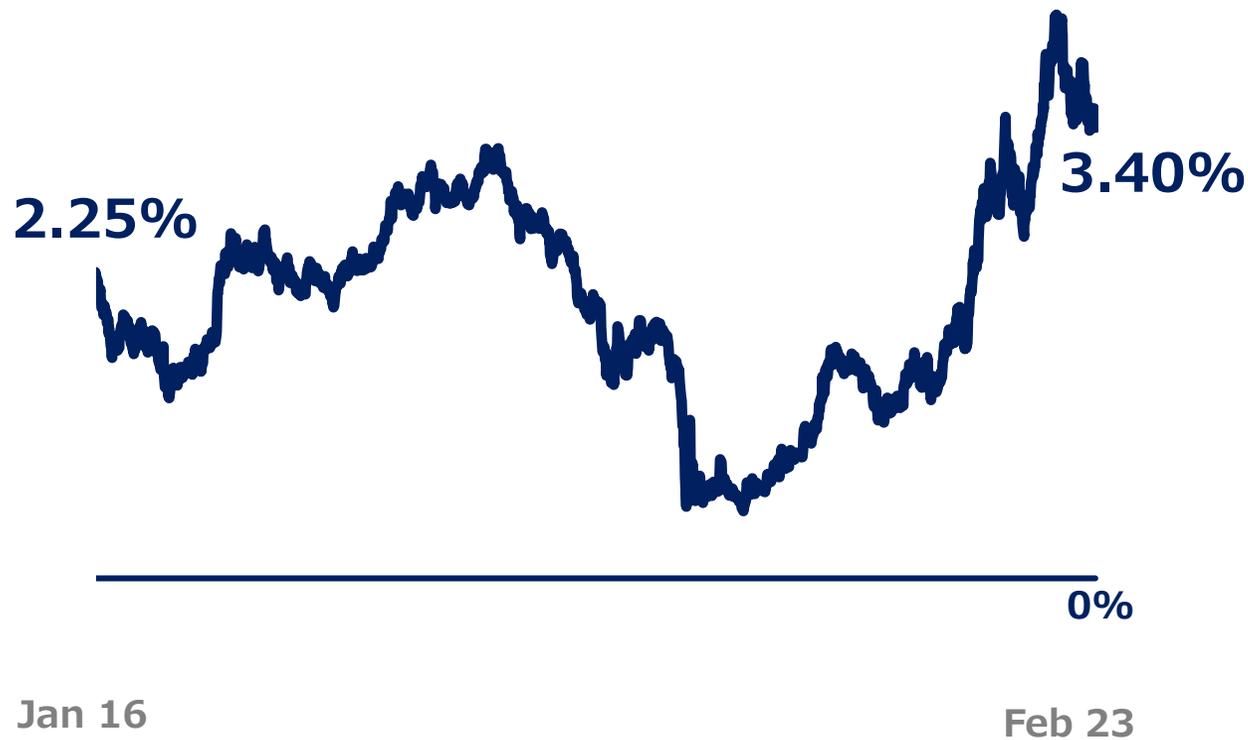


(注) 2023年2月2日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

# 日米金利の状況

グローバルな金融緩和の巻き戻しおよびその期待感により金利が上昇

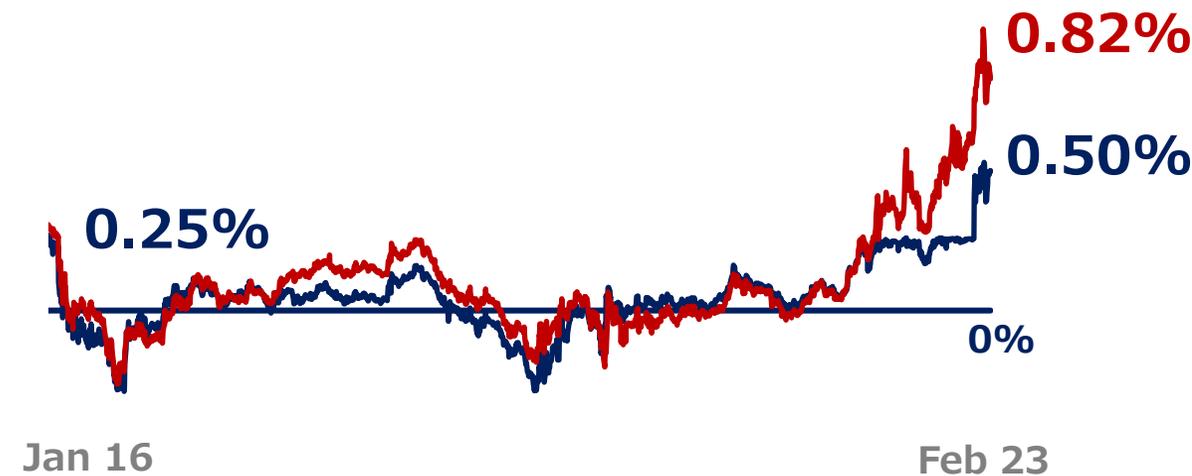
## 米国10年国債利回り推移



## 日本10年国債／スワップ金利利回り推移

10年国債

10年スワップ

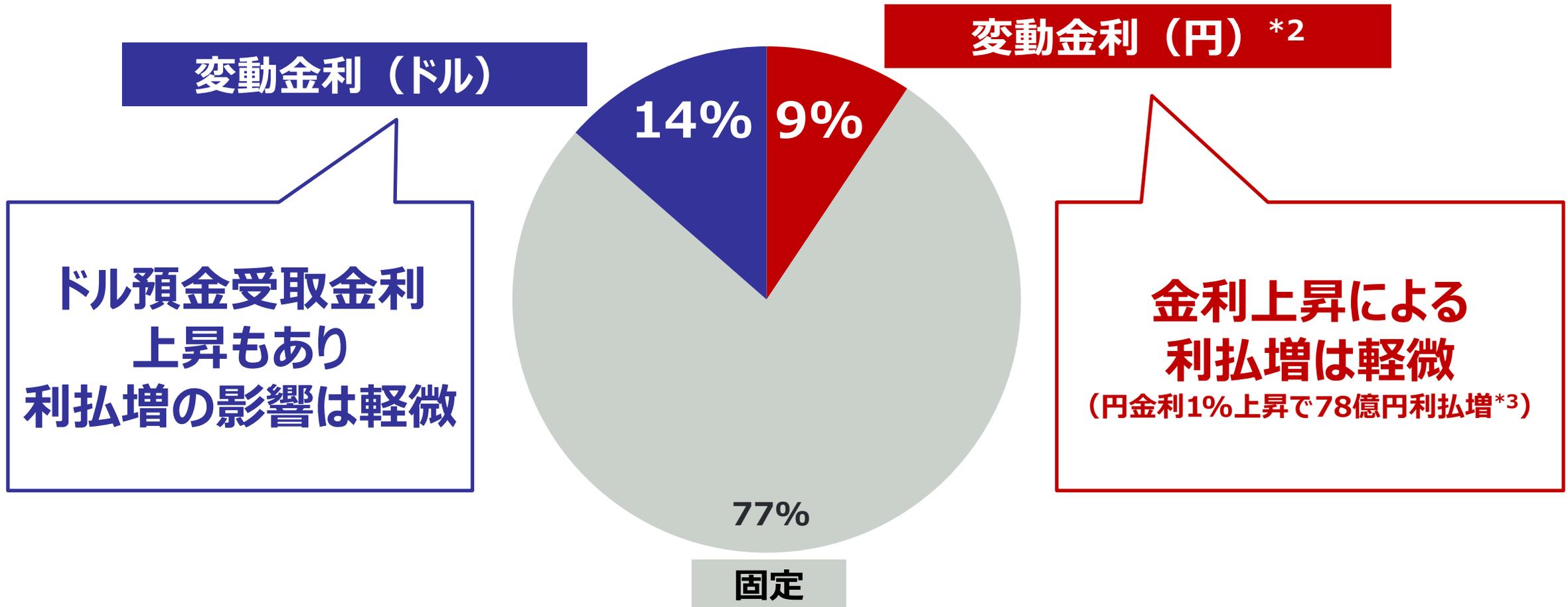


(注)

- 2023年2月2日時点
- 各時点における直近発行された国債利回りを参照

# 金利上昇が支払利息に与える影響

## SBG単体有利子負債<sup>\*1</sup>（株式先渡金融負債除く）に占める固定変動割合



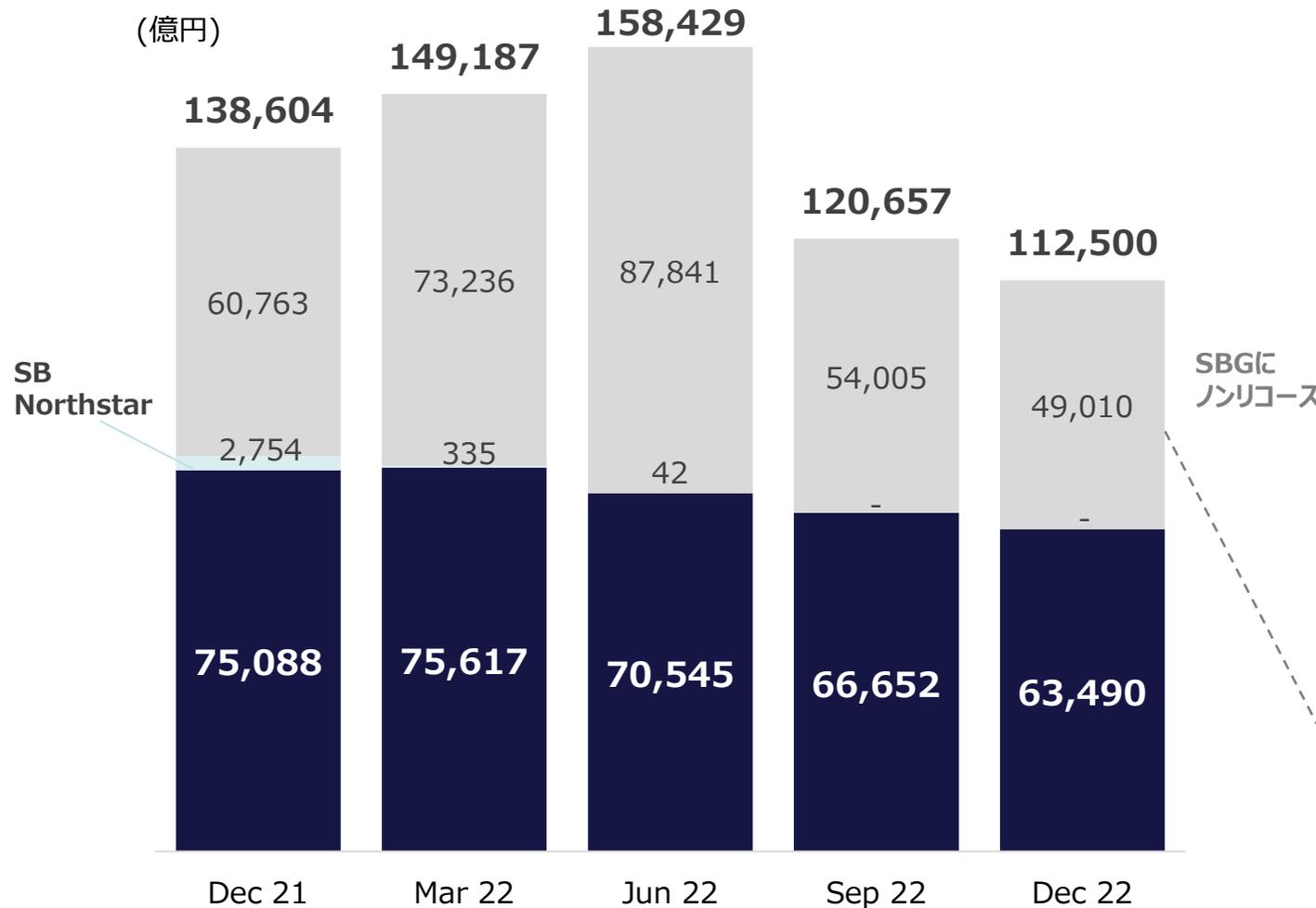
\*1 2022年12月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むML、除く株式先渡契約）

\*2 含むCP残高

\*3 円変動分にかかる直近12か月の利払増額（推計）

# SBG単体 有利子負債\*1

## 2022年3月期末対比、 ノンリコース分除く有利子負債を約1.2兆円削減



2022年9月末からの主な変動要因	
• 株式先渡売買契約の現物決済	-9,748億円 (アリババ)
• 株式先渡売買契約の締結	+\$6.1B (アリババ)
• 外債シニアバイバック	-\$1.5B
• 国内リテール債発行	+3,850億円
• 国内リテール債償還	-3,370億円

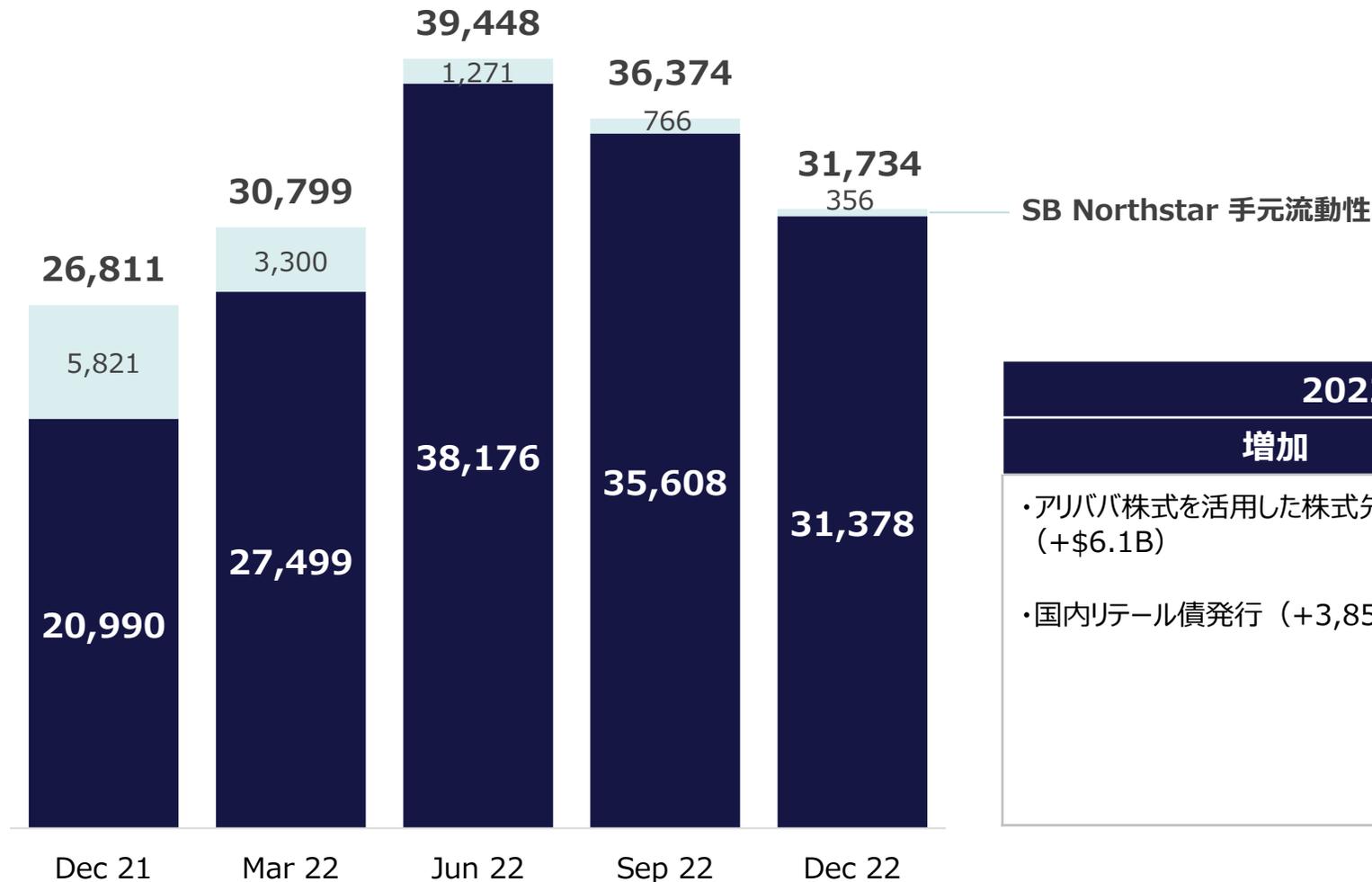
2022年12月末 内訳 (億円)		
SBG 借入金	対9月末	
銀行借入	2,854	-423
ハイブリッドローン	837	0
その他	-	-8
小計	3,690	-431
<b>SBG 社債・CP</b>		
国内シニア債	22,723	+442
国内劣後債/ハイブリッド債	16,259	+6
外債	18,230	-3,101
CP	1,930	-160
小計	59,142	-2,814
<b>SBG リース負債</b>		
	111	-3
<b>子会社 有利子負債</b>		
株式先渡契約金融負債	28,516	-4,023
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,328	+12
ソフトバンク株式を活用したマージン・ローン	4,998	+4
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	11,169	-988
その他	547	+87
小計	49,557	-4,908
<b>合計</b>	<b>112,500</b>	<b>-8,156</b>

\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

# SBG単体 手元流動性

## 負債削減を継続するも、潤沢な手元流動性を維持

(億円)



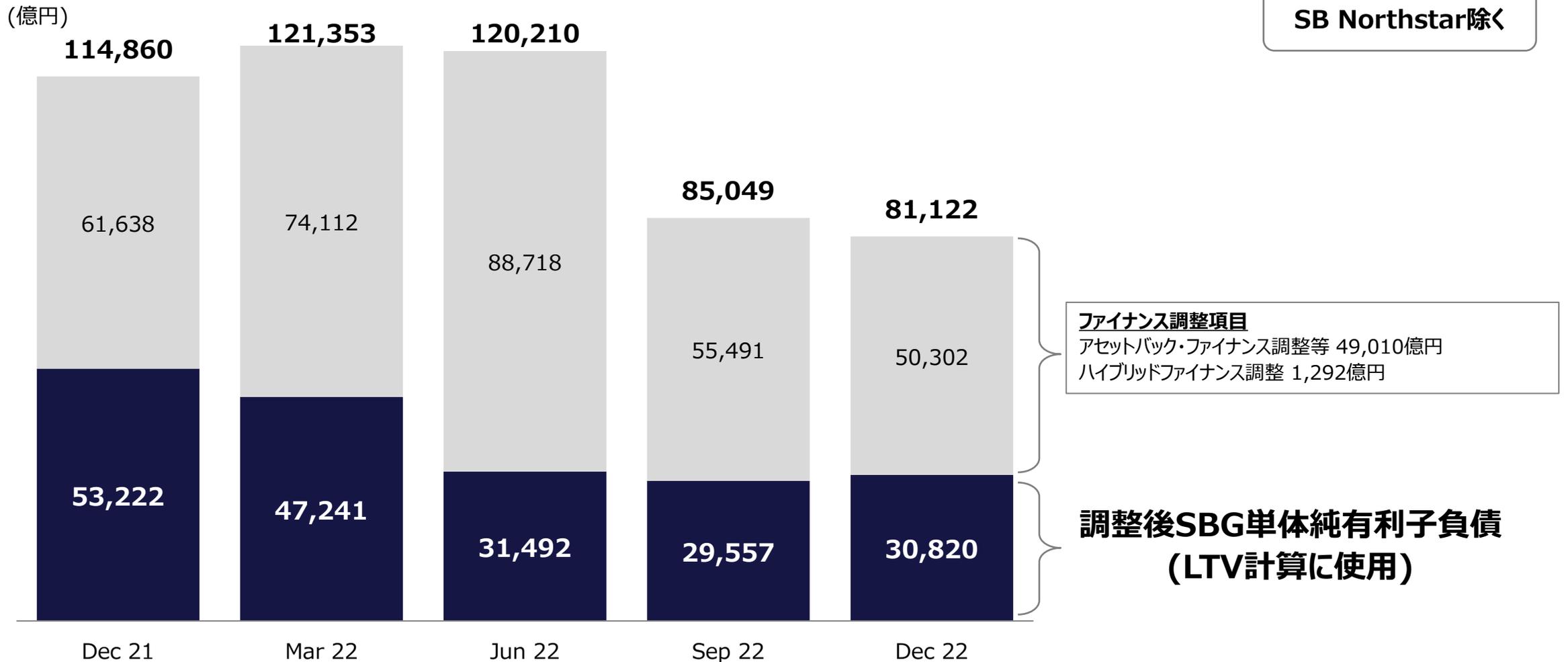
2022年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> <li>アリババ株式を活用した株式先渡売買契約 (+\$6.1B)</li> <li>国内リテール債発行 (+3,850億円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社株買い (-5,323億円)</li> <li>国内リテール債償還 (-3,370億円)</li> <li>外債バイバック (-\$2.3B)</li> <li>アリババ株式に関連する税金支払<sup>*1</sup> (-2,018億円)</li> </ul>

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

\*1 2022年8-9月のアリババ株式先渡売買契約の早期現物決済に関連するデリバティブ利益の実現などにより課税所得が生じた100%子会社によるもの

# SBG単体 純有利子負債

## 調整後純有利子負債を2022年3月期末対比、約1.6兆円削減



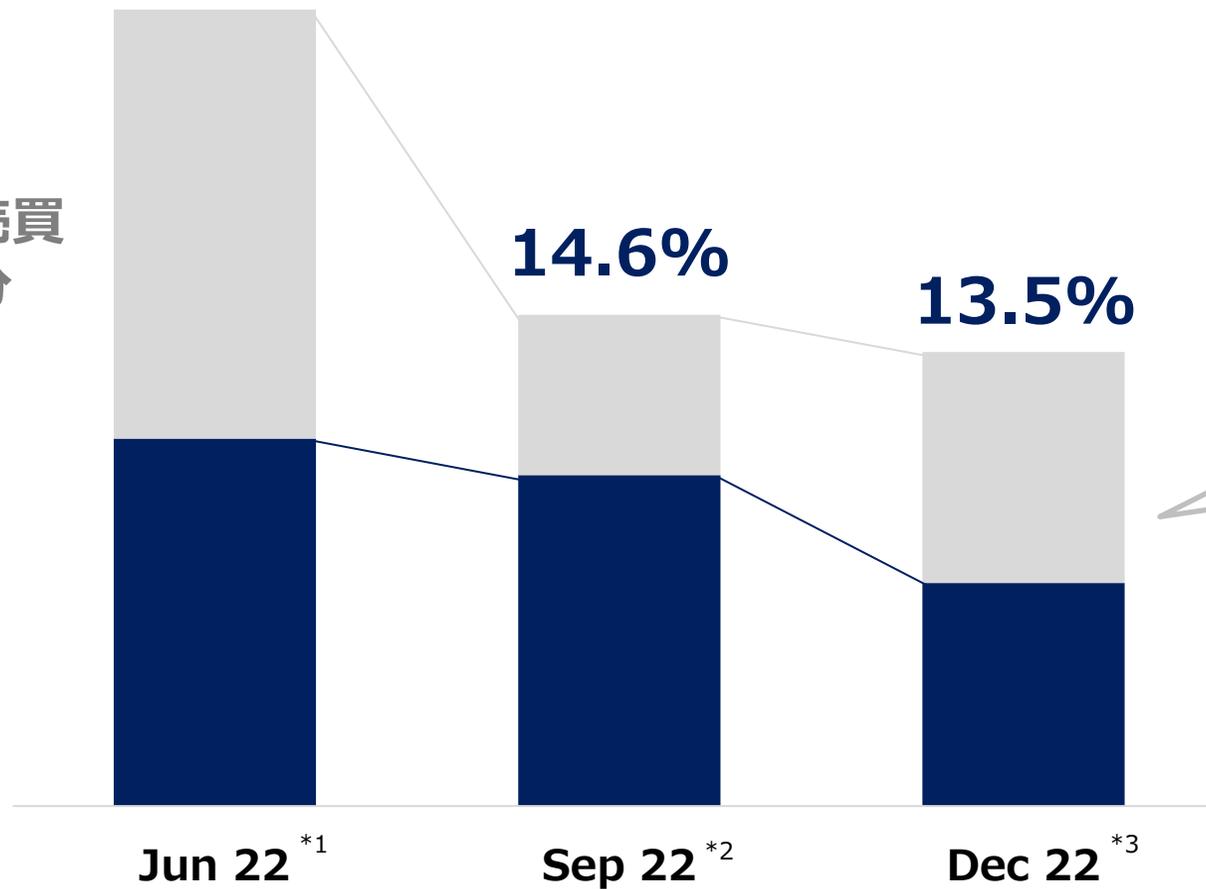
(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

# アリババ株式を活用したアセットバック・ファイナンス

## 株式先渡売買契約の現物決済後、実質保有割合が低下

実質保有割合 **23.7%**

株式先渡売買  
契約使用分



**Q3の資金化実績**  
・フォワード取引 合計\$6.1B

\*1 AlibabaのForm 20-Fに記載された2022年3月31日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,357,323,112株に基づき算出

\*2 同社のForm 20-Fに記載された2022年7月15日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,185,107,544株に基づき算出

\*3 2022年9月末の同社発行株式数（自己株式を除く）に基づき算出

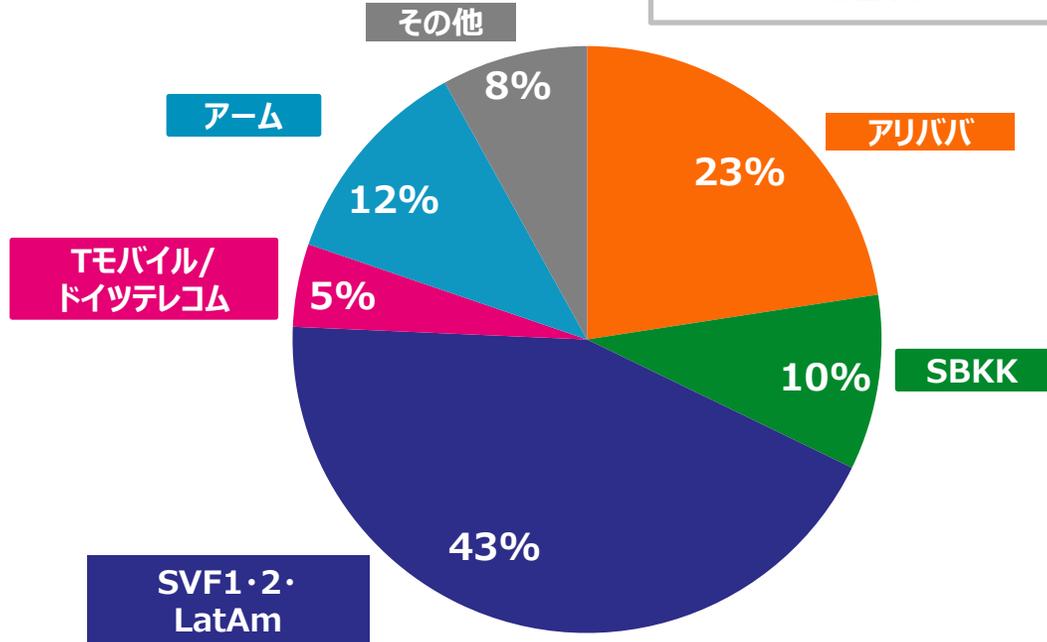
# 保有株式価値：ポートフォリオの分散

## ポートフォリオの分散化を継続

アセットバック・ファイナンス除く

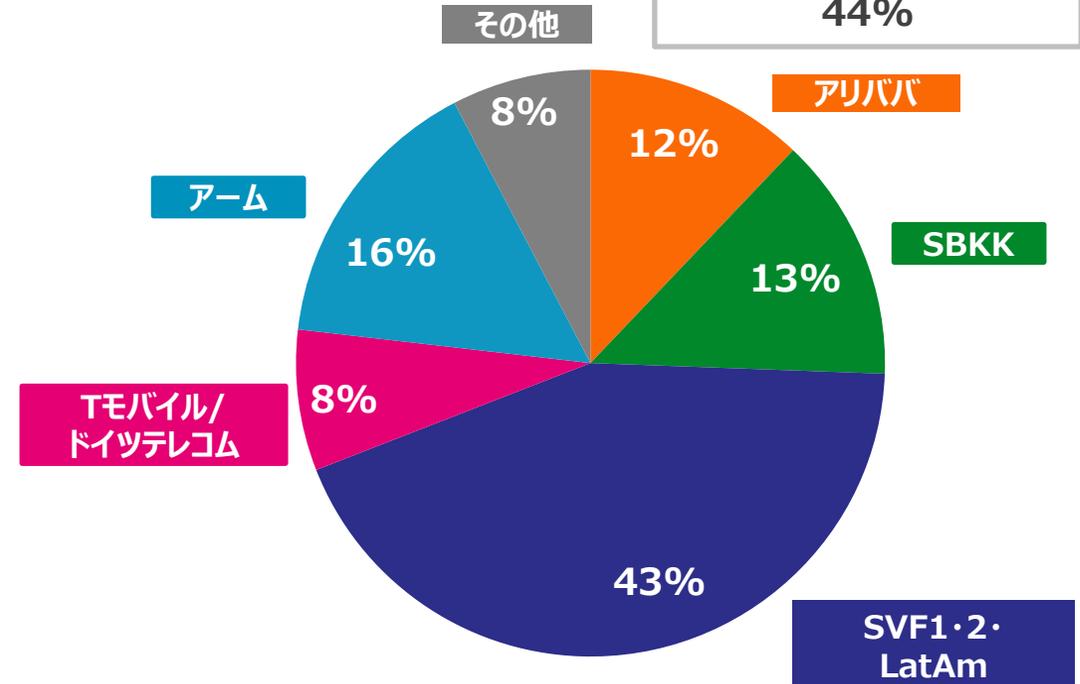
2022年3月末

上場株式\*1の割合  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
52%



2022年12月末

上場株式\*1の割合  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
44%



(注) 保有株式価値の12月末時点の詳細は、Appendix「2022年12月末：保有株式価値（算出方法）」、3月末時点の詳細は、2022年3月期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendix「保有株式価値（算出方法）」を参照

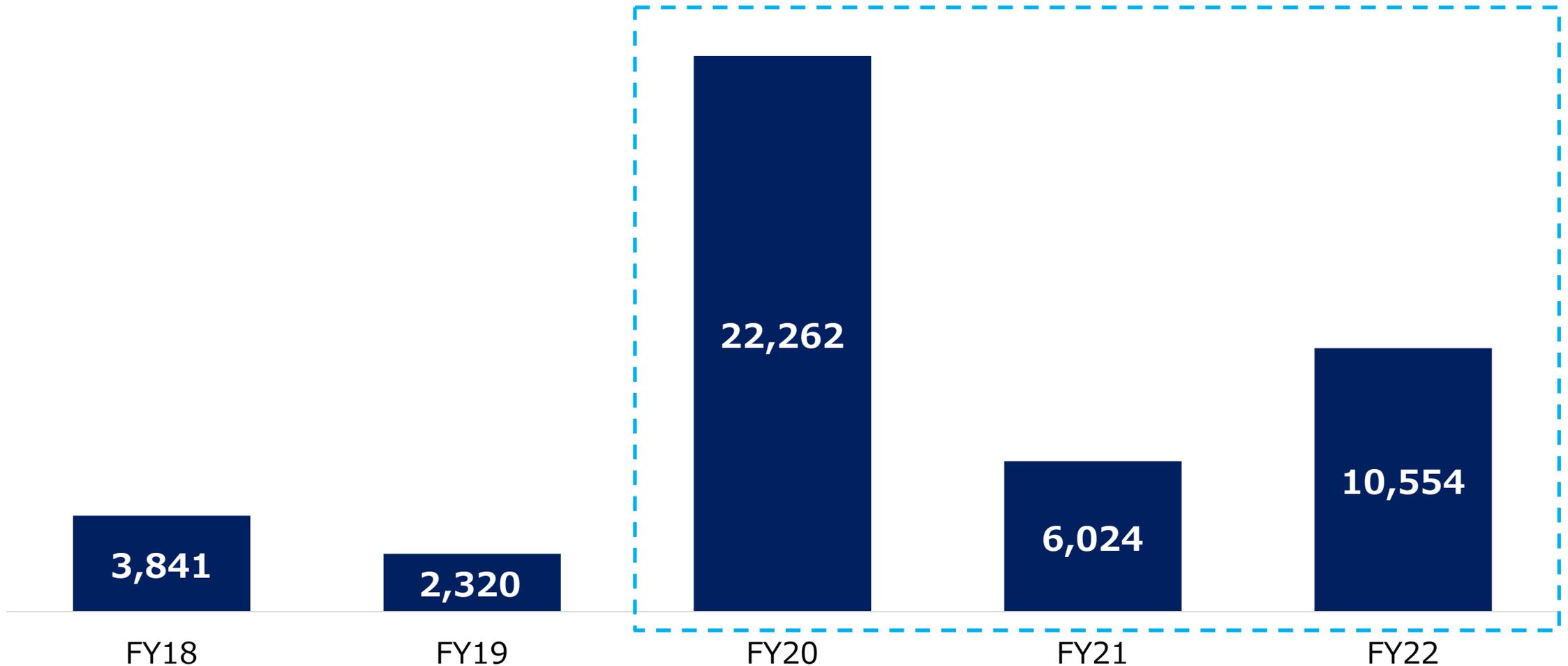
\*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドが保有する上場株式、SBKK、TMモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む）。(i) 2022年12月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合（アセットバック・ファイナンス控除後）と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、2022年12月末時点のSBGのアーム保有株式価値（アセットバック・ファイナンス控除後）を合計すると60%。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。SBGのアーム保有株式価値の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①」を参照

# 自己株式取得額の推移

4.5兆円プログラム以降の3年間で累計約4兆円の自己株式を取得  
 本年度も1兆円以上の大規模な自己株取得を実施済み

(億円)

累計取得額約4兆円



① 財務方針の堅持

② あらゆる変化に  
対応できる  
柔軟かつ機動的な  
財務運営

**1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

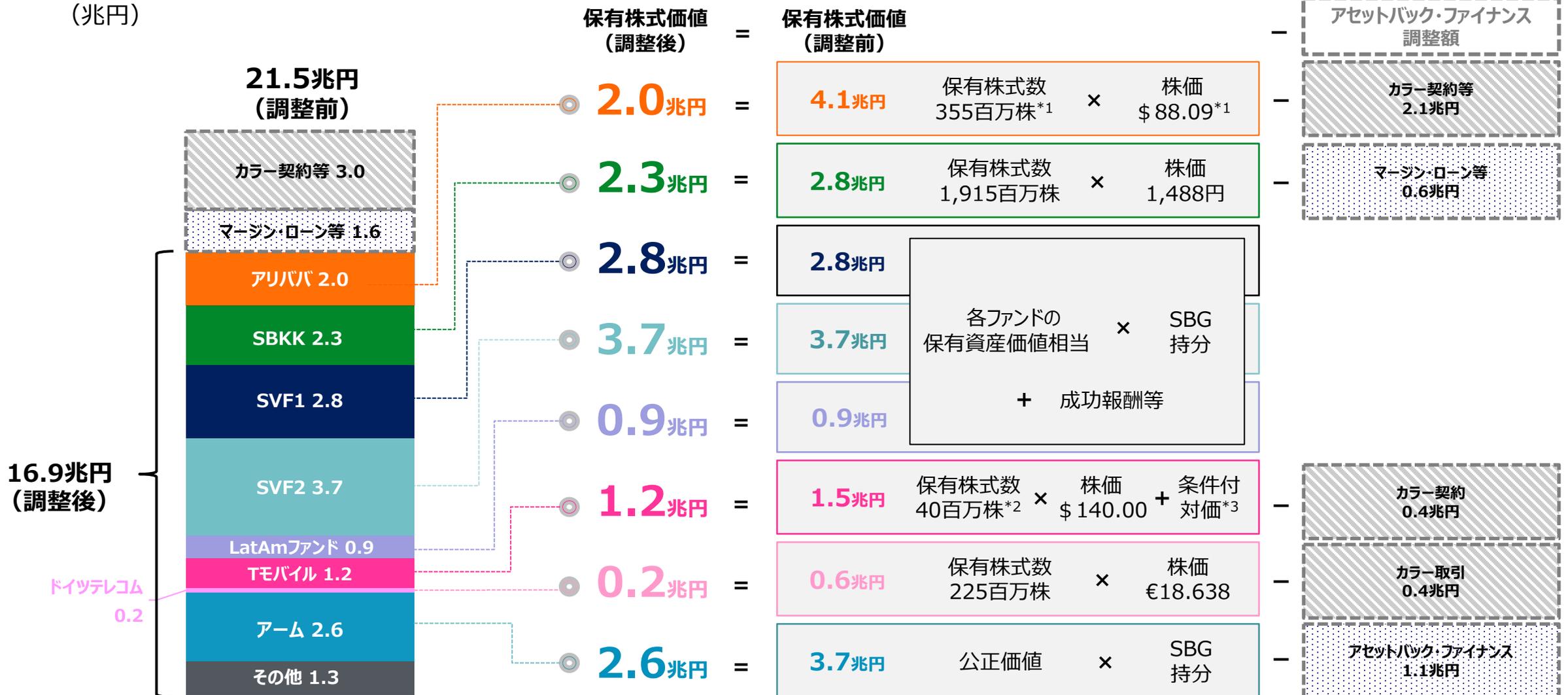
**3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

# Appendix

# 2022年12月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=132.70円

(兆円)



Dec 22

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

\*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 \*2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。

\*3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

3.08兆円

= 18.2%

(V) 調整後  
SBG単体 保有株式価値\*1

16.93兆円



アリババ	+4.15	SBKK	+2.85	Tモバイル	+1.53	SVF1	+2.79
アセットバック・ファイナンス	-2.10	アセットバック・ファイナンス	-0.56	アセットバック・ファイナンス	-0.38	SVF2	+3.71
<b>アリババ (調整後)</b>	<b>+2.05</b>	<b>SBKK (調整後)</b>	<b>+2.29</b>	<b>Tモバイル (調整後)</b>	<b>+1.15</b>	LatAmファンド <sup>〃</sup>	+0.86
ドイツテレコム	+0.59	アーム	+3.75				
アセットバック・ファイナンス	-0.43	アセットバック・ファイナンス	-1.12				
<b>ドイツテレコム(調整後)</b>	<b>+0.16</b>	<b>アーム (調整後)</b>	<b>+2.63</b>				

(注) 2022年12月末時点

\*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細については、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(a) アリババ</b>	<b>2.05</b>	
調整前	4.15	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-2.10	複数の株式先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2022年12月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（2兆1,026億円）
<b>(b) SBKK</b>	<b>2.29</b>	
調整前	2.85	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.56	SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額等（5,629億円）
<b>(c) SVF1</b>	<b>2.79</b>	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
<b>(d) SVF2</b>	<b>3.71</b>	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
<b>(e) LatAmファンド</b>	<b>0.86</b>	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
<b>(f) アーム</b>	<b>2.63</b>	
調整前	3.75	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分の公正価値（希薄化前の発行済株式に対するSBGの持分：75.01%）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.12	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,169億円）

(注) 2022年12月末時点

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(g) Tモバイル</b>	<b>1.15</b>	
調整前	1.53	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2022年12月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.38	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（3,797億円）
<b>(h) ドイツテレコム</b>	<b>0.16</b>	
調整前	0.59	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.43	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,304億円）
<b>(i) その他</b>	<b>1.29</b>	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
<b>SBG単体 調整後保有株式価値</b>	<b>16.93</b>	<b>財務編P27からの(a)～(i)までの合計額</b>

(注) 2022年12月末時点

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

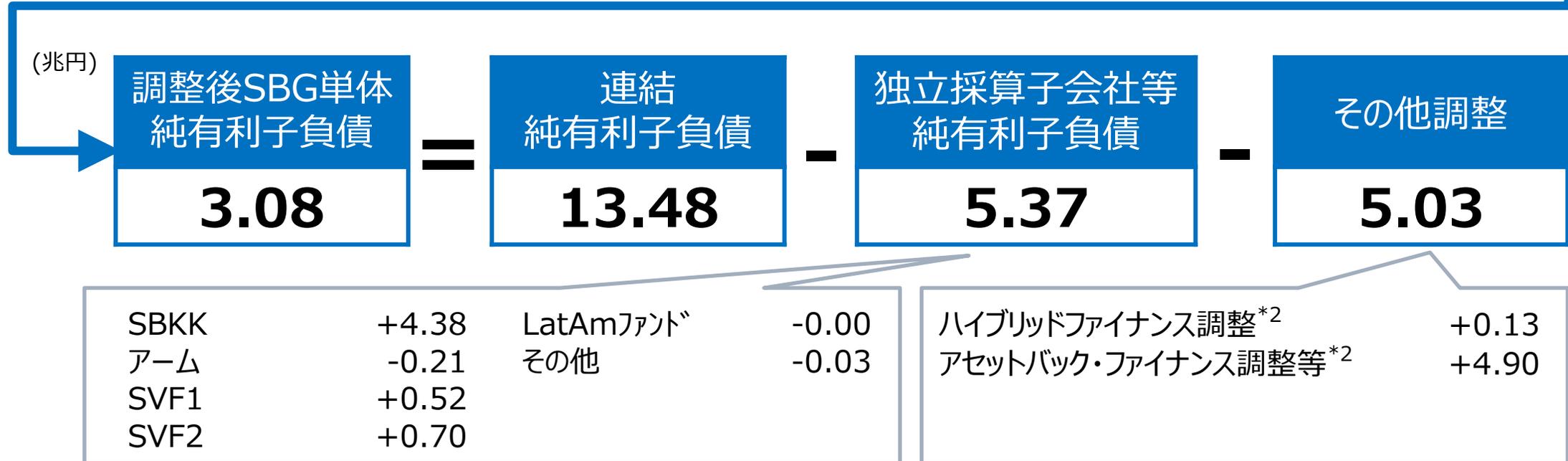
(L) 調整後  
SBG単体 純有利子負債\*1

3.08兆円

=18.2%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

16.93兆円



(注) 2022年12月末時点

\*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

\*2 詳細については、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

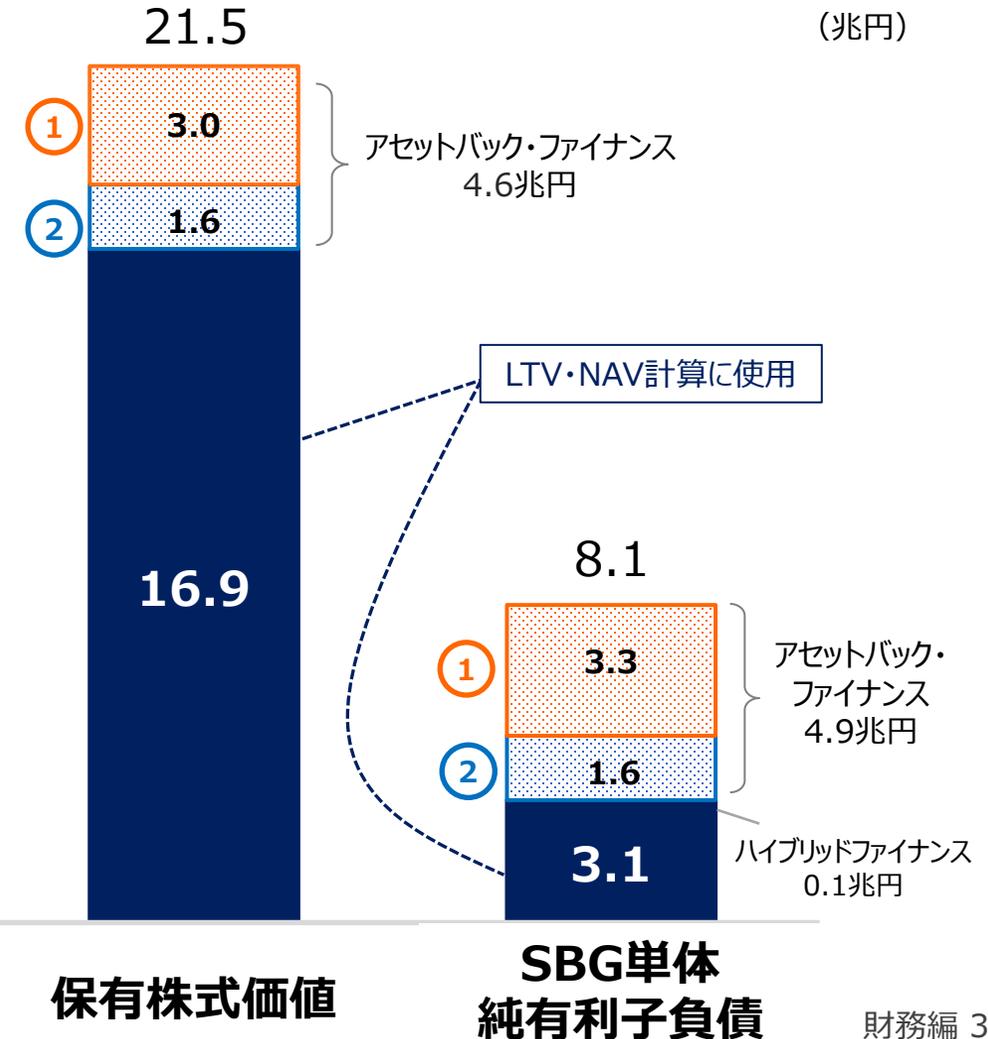
SBG単体 調整前純有利子負債		8.11	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.13		・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットバック・ファイナンス調整等	-4.90		
アリババ	-2.42		アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（2兆4,152億円）
アーム	-1.12		同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,169億円）
Tモバイル	-0.37		Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（3,727億円）
ドイツテレコム	-0.43		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,328億円）
SBKK	-0.56		SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額等（5,635億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		3.08	

(注) 2022年12月末時点

# LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除  
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージン・ローン等
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約* <sup>1</sup> に基づく資金調達（SBGにノンリコース）	株式を担保に借入を行う資金調達（SBGにノンリコース）
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額</li> <li>・株価水準によって変動</li> </ul>	返済に必要なアセット相当額（バランスシート上のデット計上額）
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少</li> <li>・追加担保等や期限前返済は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要</li> <li>・返済金額は不変</li> </ul>



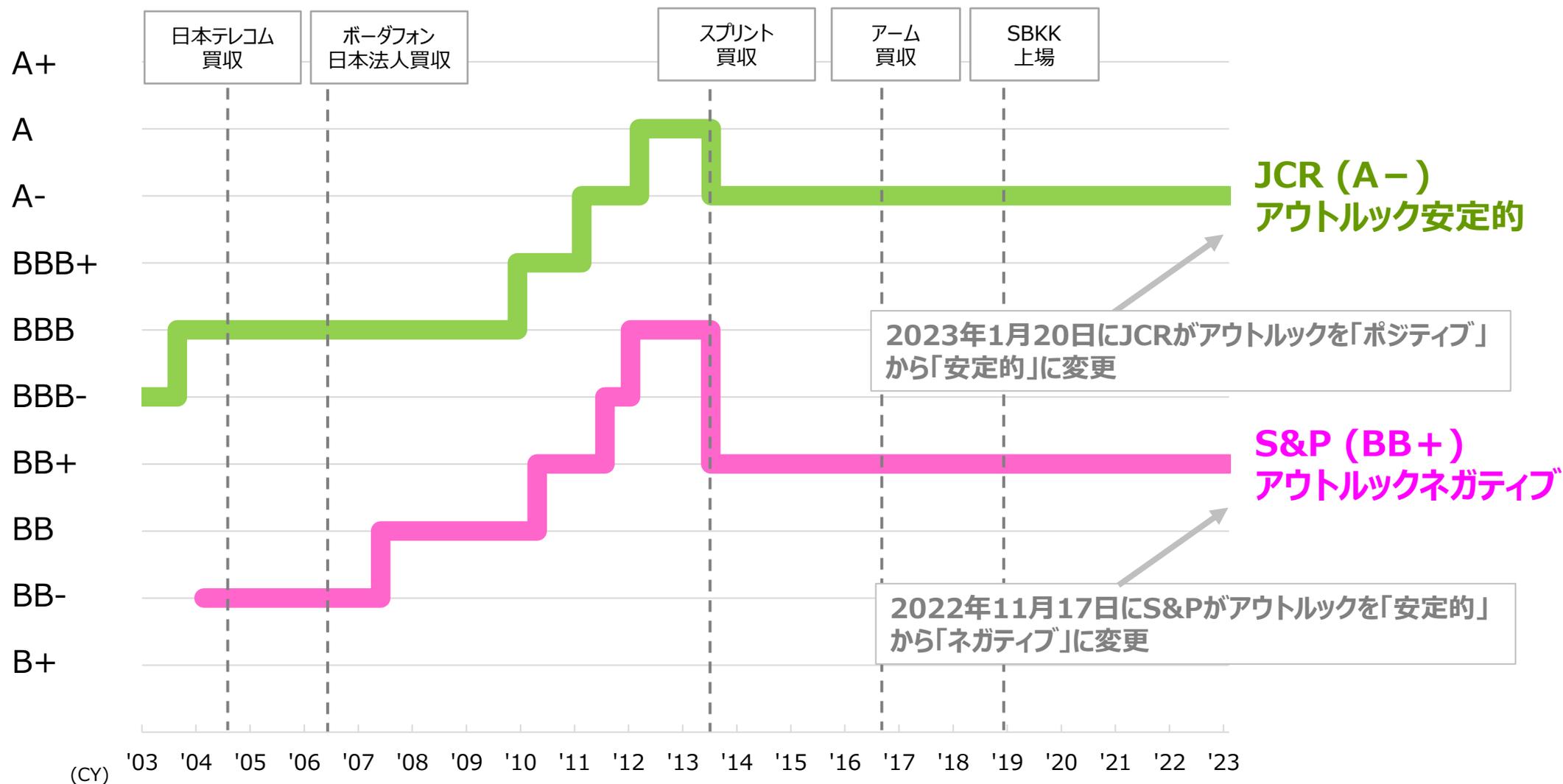
(注) 2022年12月末時点

\*1 あらかじめ合意された価格（フォワード）または価格レンジ（カラー・プット）で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

# (参考) フォワード取引、カラー取引

<p><b>目的</b></p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引</li> <li>• 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達</li> <li>• 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可</li> <li>• 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する</li> </ul>
<p><b>フォワード取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済</li> <li>• 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない</li> </ul>
<p><b>カラー取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済</li> <li>• 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定</li> </ul>

# SBGの格付推移



(注) 2023年2月7日時点

# 連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債\*1

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
<b>SBG単体</b>	138,604	149,187	158,429	120,657	<b>112,500</b>
うち、SB Northstar	2,754	335	42	-	-
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	12,086	10,773	14,134	14,811	<b>13,199</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	61,680	59,994	62,202	61,350	<b>62,096</b>
<b>その他（アーム等）</b>	3,370	3,282	3,744	1,782	<b>1,652</b>
<b>合計</b>	<b>215,739</b>	<b>223,236</b>	<b>238,509</b>	<b>198,600</b>	<b>189,448</b>

連結手元流動性\*2

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
<b>SBG単体</b>	26,811	30,799	39,448	36,374	<b>31,734</b>
うち、SB Northstar	5,821	3,300	1,271	766	356
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	2,511	2,003	733	502	<b>1,026</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	12,834	12,219	12,488	13,925	<b>18,254</b>
<b>その他（アーム等）</b>	6,101	7,208	6,671	6,478	<b>3,661</b>
<b>合計</b>	<b>48,256</b>	<b>52,229</b>	<b>59,341</b>	<b>57,279</b>	<b>54,675</b>

連結純有利子負債\*3

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
<b>SBG単体</b>	111,793	118,388	118,981	84,283	<b>80,766</b>
うち、SB Northstar	-3,067	-2,965	-1,229	-766	-356
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	9,575	8,770	13,401	14,310	<b>12,174</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	48,846	47,775	49,713	47,425	<b>43,842</b>
<b>その他（アーム等）</b>	-2,730	-3,927	-2,927	-4,696	<b>-2,009</b>
<b>合計</b>	<b>167,483</b>	<b>171,006</b>	<b>179,168</b>	<b>141,321</b>	<b>134,773</b>

\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

\*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

\*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ

QUARTER ENDED DECEMBER 31, 2022

# Investor Briefing

## SoftBank Vision & LatAm Funds

---

### **NAVNEET GOVIL**

CFO, Member of the Executive Committee

SB Global Advisers

# Important Information (1 of 2)

---

This presentation (this “Presentation”) is furnished to you for informational purposes in connection with the interests of SoftBank Group Corp. (together with its affiliates, “SoftBank”) in SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF I”) or SoftBank Latin America Fund GP Ltd and SBLA Holdings II DE LLC (together with, as the context may require, any parallel funds, feeder funds, co-investment vehicles or alternative investment vehicles, the “LatAm Funds”) and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in the Vision Fund I or any other fund, managed by SB Investment Advisers (UK) Ltd. (the “Manager” or “SBIA”), or SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, “SVF II” or the “Vision Fund II”), managed by SB Global Advisers Limited (“SBGA”) and its affiliates thereof. This Presentation is not intended to be relied upon as the basis for any investment decision, and is not, and should not be assumed to be, complete. The contents of this Presentation are not to be construed as legal, business or tax advice.

None of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBIA, SBGA, SoftBank or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBGA or any other entity referenced in this Presentation.

Recipients of this Presentation should make their own investigations and evaluations of the information contained in this Presentation and should note that such information may change materially.

For the avoidance of doubt, the Vision Fund I is a prior fund managed by SBIA which is not being offered to investors. Information relating to the performance of the Vision Fund I or any other entity referenced in this Presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the Vision Fund I, any other entity referenced in this Presentation or any future fund managed by SBIA. References to any specific investments of the Vision Fund I, to the extent included herein, are presented to illustrate the Manager’s investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments in the Vision Fund I may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described herein do not represent all of the investments made by the Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable.

Statements contained in this Presentation (including those relating to current and future market conditions and trends in respect thereof) that are not historical facts are based on current expectations, estimates, projections, opinions and/or beliefs of the Manager. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, no representation or warranty is made with respect to the reasonableness of any estimates, forecasts, illustrations, prospects or returns, which should be regarded as illustrative only, or that any profits will be realized. Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. Due to various risks and uncertainties, actual events or results or actual performance of the Vision Fund I or any successor fund managed by the Manager (or any other entity referred to herein) may differ materially from those reflected or contemplated in such forward-looking statements. As a result, investors should not rely on such forward-looking statements in making their investment decisions. Further, the targets stated herein are based on an assumption that economic, market and other conditions will not deteriorate and, in some cases, improve. These projections involve significant elements of subjective judgment. No representation or warranty is made as to future performance or such forward-looking statements. None of the information contained herein has been filed with the U.S. Securities and Exchange Commission, any securities administrator under any securities laws of any U.S. or non-U.S. jurisdiction or any other U.S. or non-U.S. governmental or self-regulatory authority. No such governmental or self-regulatory authority will pass on the merits of the offering of interests in the Vision Fund I, or any successor fund managed by the Manager or the adequacy of the information contained herein. Any representation to the contrary is unlawful. Except where otherwise indicated herein, the information provided in this Presentation is based on matters as they exist as of the date of preparation of this Presentation and not as of any future date, and will not be updated or otherwise revised to reflect information that subsequently becomes available, or circumstances existing or changes occurring after the date hereof.

# Important Information (2 of 2)

---

Vision Fund I performance herein is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated herein or used to calculate the returns contained herein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the Vision Fund I's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the Manager's valuations are based.

Vision Fund I performance is based in part on valuations of certain investments that were recently acquired by the Vision Fund I as a portfolio from SoftBank Group Corp; accordingly, the performance information herein, which is based in part on valuations of unrealized investments, is not indicative of future results. The selection of such investments, the timing of such acquisitions and the valuation and subsequent performance of those investments had a material and positive impact on the performance of the Vision Fund I. SoftBank Group Corp. is under no obligation to offer similar assets to the Vision Fund I in the future.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of the Vision Fund I or any future fund managed by the Manager may be materially lower than the performance information presented herein. There can be no assurance that the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will achieve comparable results as those presented herein or that investors in the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will not lose any or all of their invested capital.

Certain information contained in this Presentation has been obtained from published and non-published sources prepared by other parties, which in certain cases has not been updated through the date hereof. While such information is believed to be reliable for the purposes of this Presentation, none of the Vision Fund I, Vision Fund II, any successor fund managed by the Manager, the Manager, SoftBank, or their respective affiliates assumes any responsibility for the accuracy or completeness of such information and such information has not been independently verified.

Certain hypothetical illustrations set forth herein contain projections, targets, assumptions and expectations with respect to the performance of investments. These hypothetical returns, including the projections, targets, assumptions and expectations contained therein, have been prepared and are set out for illustrative purposes only, and do not constitute forecasts. They have been prepared based on the Manager's current view in relation to future events and various assumptions and estimations, including estimations and assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. Others may select other underlying assumptions or methodologies that would significantly affect the projected returns or performance information set forth herein, even materially.

Third-party logos and vendor information included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, the Vision Fund I's portfolio companies, any future portfolio companies of a successor fund managed by the Manager or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

# Topics

---

01- Progress & Highlights

02- Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

03- In Focus: Resilience & Discipline in a Challenging Market

# Progress & Highlights

---

# Despite a Volatile Year, We Remain High-Conviction Investors in AI

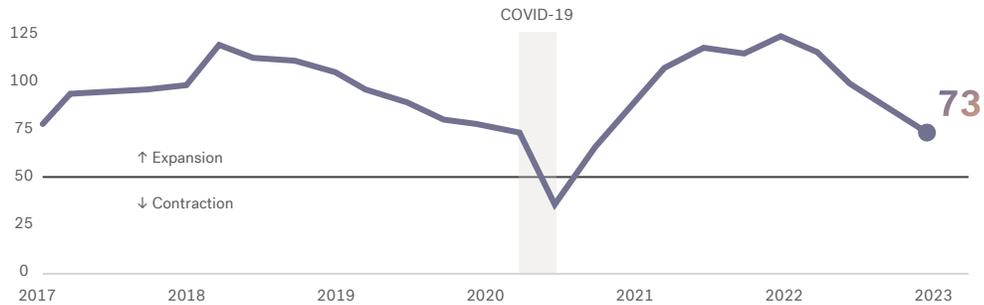
## MARKET DEVELOPMENTS

### 2022 Performance<sup>1</sup>

**-40%**  
Nasdaq Tech 100

**-55%**  
Refinitiv VC Index

### CEO Economic Outlook Index<sup>1</sup>



## PORTFOLIO UPDATE

**\$16B+**  
Capital Raised  
2022<sup>2</sup>

Portfolio Companies Continue to Attract Investor Interest, Completing 80+ Funding Rounds in 2022

**94%**  
Investments with  
12+ Months Runway<sup>3</sup>

Invested in Well-Capitalized Companies

**\$37B+**  
Fair Value  
Late-Stage Portfolio<sup>4</sup>

Portfolio Companies Poised to List Publicly

Footnotes:

1. Based on calendar year 2022 performance. Sources: NASDAQ Performance - CapIQ, Refinitiv VC Index Performance - FT, CEO Economic Outlook Index - Axios, Business Roundtable CEO Economic Outlook Index, December 2022.
2. Source: SBGA/SBIA Analysis. Based on calendar year 2022 funding rounds.
3. Source: SBGA/SBIA Analysis. Based on portfolio company fair value. Excludes portfolio companies where cash runway data is unavailable. As of December 31, 2022.
4. Total Fair Value is the Acquisition Cost plus Cumulative Gross Investment Gains/(Losses) as of December 31, 2022.

The information is provided for illustrative purposes only. Certain information provided herein is provided by a third-party and SBIA makes no representation regarding its accuracy. The criteria for including securities in these indices are different than SBIA's criteria for choosing investments for Vision Fund 1, Vision Fund 2, or the LatAm Funds. Specifically, SVF1, SVF2, and the LatAm Funds do not invest in the securities comprising these indices. An investment in SVF1, SVF2, or the LatAm Funds generally will be subject to expenses, management fees, and carried interest charged or payable by SVF1, SVF2, or the LatAm Funds, none of which are reflected in these indices. For the foregoing and other reasons, the returns achieved by SVF1, SVF2, or the LatAm Funds and the returns of the indices should not be considered comparable. Past performance is not indicative of future results.

SoftBank  
Vision Fund 1SoftBank  
Vision Fund 2SoftBank  
LatAm Funds

Combined

Total Commitment

\$98.6B

\$56.0B

\$7.6B

\$162.2B

## PROGRESS &amp; HIGHLIGHTS

Performance  
Snapshot

As of December 31, 2022

Acquisition Cost<sup>1</sup>

\$87.9B

\$49.4B

\$7.3B

\$144.6B

Cumulative Gross  
Investment Gains/(Losses)<sup>1</sup>

\$13.1B

\$(17.0B)

\$(0.9B)

\$(4.8B)

Total Fair Value<sup>2</sup>

\$101.0B

\$32.4B

\$6.4B

\$139.8B

Distributions<sup>3</sup>

\$44.2B

\$9.1B

\$0.1B

\$53.4B

## Footnotes:

1. Acquisition Cost and Cumulative Gross Investment Gains/(Losses) are cumulative from Fund Inception to December 31, 2022. Cumulative Gross Investment Gains/(Losses) are before tax and expenses and include Unrealized and Realized gains and losses from Investments and their related hedges and dividend income received. Cumulative Gross Investment Gains does not take into account fees or expenses and should not be construed as indicative of actual or future performance. The Total Value to Paid in Capital (TVPI) of SoftBank Vision Fund 1 is 1.11x. The TVPI is defined as Distributions plus Net Asset Value plus Accrued Preferred Equity Coupon (PEC) divided by Paid-in Capital. Distributions and Paid-in Capital are cumulative from Fund Inception to December 31, 2022. Net Asset Value plus Accrued PEC are as of December 31, 2022.
2. Total Fair Value is the Acquisition Cost plus Cumulative Gross Investment Gains/(Losses) as of December 31, 2022.
3. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financings, and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partners from Fund Inception to December 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

The information herein is presented solely for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. Past performance is not necessarily indicative of future results. Cumulative Gross Investment Gains/(Losses) and Total Fair Value include valuations of Unrealized Investments, do not take into account fees or expenses at the time of exit that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. Actual Realized amounts will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.

# Distributions to Limited Partners

Since Inception to December 31, 2022

	(A)	(B)	Total Distributions		(E) = (B)-(C)
			(C)	(D)	
	Fund Commitment	Drawn Capital <sup>1</sup>	Return of Capital <sup>2</sup>	Pref Coupon <sup>3</sup> / Equity Gains <sup>4</sup>	Outstanding Capital <sup>5</sup>
Preferred Equity	\$40.0B	\$36.2B	\$18.6B	\$7.0B	\$17.6B
Equity	\$58.6B	\$53.0B	\$16.5B	\$2.1B	\$36.5B
<b>Total</b>	<b>\$98.6B</b>	<b>\$89.2B</b>	<b>\$35.1 B</b>	<b>\$9.1B</b>	<b>\$54.1B</b>
			<b>\$44.2B</b>		

Footnotes:

1. Drawn Capital includes Fund Commitment drawn down through capital calls and Return of Recalable Utilized Contributions that were retained and reinvested, less Return of Recalable Unutilized Contributions. Drawn Capital excludes any Drawdowns or Returns of Recalable Contributions which fall due post December 31, 2022.
2. Return of Capital includes Return of Non-Recalable Contributions and Return of Recalable Utilized Contributions from financing distributions.
3. Pref Coupon includes distributions of Preferred Equity Coupon financed by Net Proceeds and capital calls.
4. Equity Gains includes Net Proceeds distributions to the Limited Partners, distributing amounts in excess of Returns of Capital and Preferred Equity Coupon distributions.
5. Outstanding Capital includes Drawn Capital less Return of Capital (as defined above).

# Our Portfolio Companies Raised \$16B+ in 2022

Twelve-Month Period Ended December 31, 2022

## 87

Funding Rounds<sup>1</sup>

## 92%

Up Rounds<sup>2</sup>

## \$16B+

Capital Raised<sup>3,4</sup>

 Equity Round	 Series E	 Series E	 Series E	 Series B	 Series C	 Series D	 Series B	 Series G	 Series D
 Series D	 Series D	 Series C	 Series C	 Series C	 Series E	 Series B	 Series E	 Series D	 Series C
 Series D	 Series I	 Series B	 Series C	 Series D	 Equity Round	 Series B	 Series D	 Series D	 Series K
 Series C	 Series C	 Series B	 Series C	 Series C	 Series C	 Series C	 Series D	 Series C	 Series A

#### Footnotes:

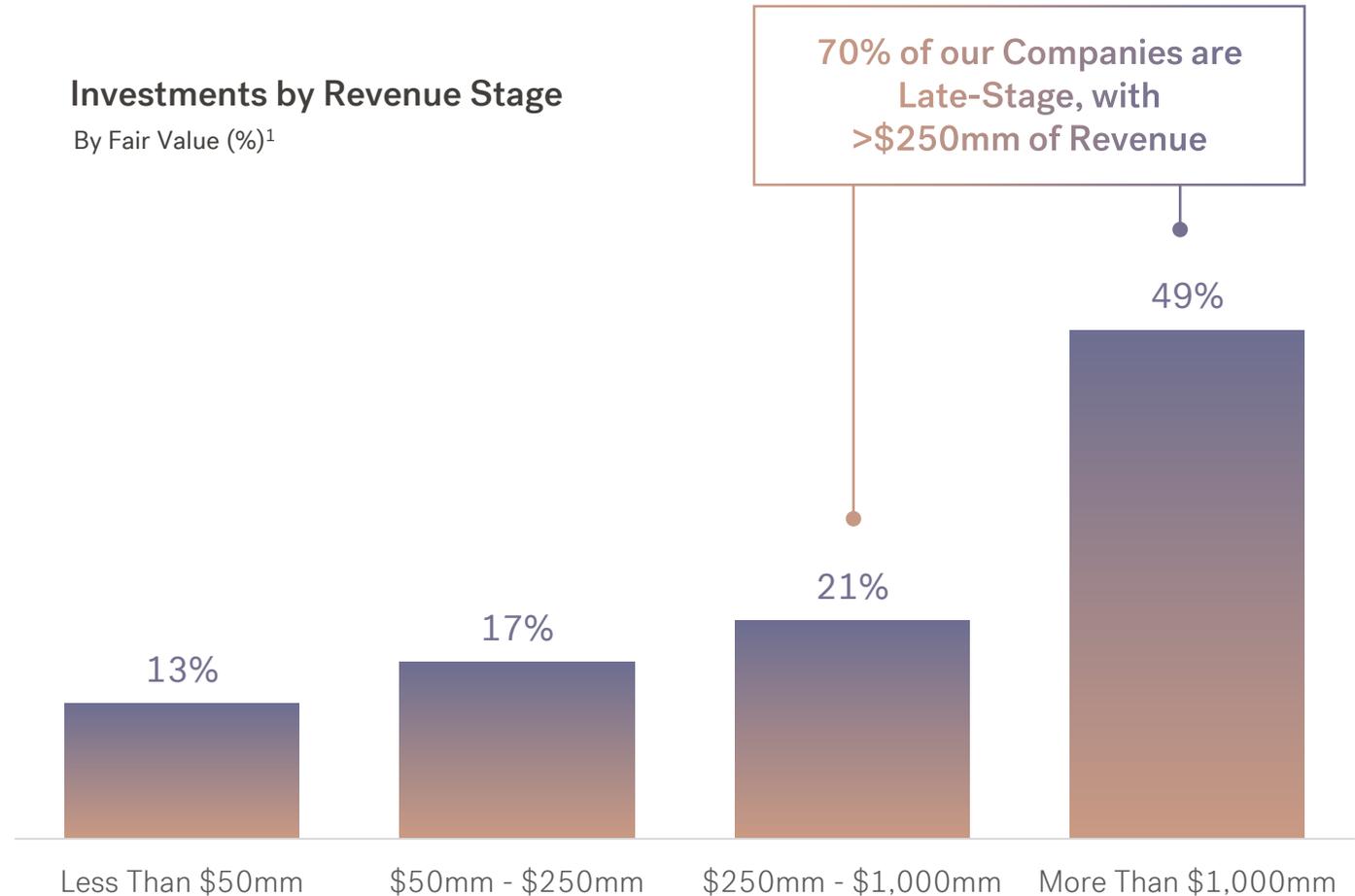
1. Funding Rounds includes the number of equity financing rounds in SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds portfolio companies during the twelve-month period ended December 31, 2022. Includes rounds where SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds did not participate. Excludes any secondary funding rounds.
2. Up Rounds defined as funding rounds where the pre-money valuation of the latest funding round exceeds the prior round post-money valuation.
3. Capital raised translated to USD using FX rates as of first close date if capital raised is not in USD.
4. Source: SBGA/SBIA Analysis. Based on calendar year 2022 funding rounds.

Select Investments presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to provide examples of the types of Investments in which SBIA Investments had funding rounds recently and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds investments. References to Investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular Investment or security. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Please refer to [visionfund.com/portfolio](https://visionfund.com/portfolio) for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds Investments. Valuations reflect Unrealized and partially Realized estimated amounts and should not be construed as indicative of actual or future performance. Such values do not reflect fees and expenses that would reduce the value of returns experienced by SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds investors. There is no guarantee that historical trends will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. There can be no assurance that Unrealized and partially Realized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the returns portrayed herein. Actual returns on Unrealized and partially Realized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are partially Realized or Unrealized may differ materially from the values indicated herein. 3rd party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. Past performance is not necessarily indicative of future results.

## PROGRESS &amp; HIGHLIGHTS

# A Maturing Portfolio Generating Sustainable Revenue Growth

As of December 31, 2022



## Footnotes:

1. Based on Fair Value of private investments as of December 31, 2022, and latest available LTM Revenue data as of December 31, 2022.

The information herein is presented solely for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. Past performance is not necessarily indicative of future results. The metrics regarding select aspects of the company's operations were selected by SBIA on a subjective basis. Such metrics are provided solely for illustrative purposes to demonstrate elements of the company's business, are incomplete, and are not necessarily indicative of the company's performance or overall operations. There can be no assurance that historical trends will continue throughout the life of Vision Fund I, Vision Fund II, or the Latam Fund.

# Invested Across Diverse Sectors (1/3)

As of December 31, 2022

## FAIR VALUE & INVESTMENT COUNT BY SECTOR



Consumer

\$38.8B | 88 Investments



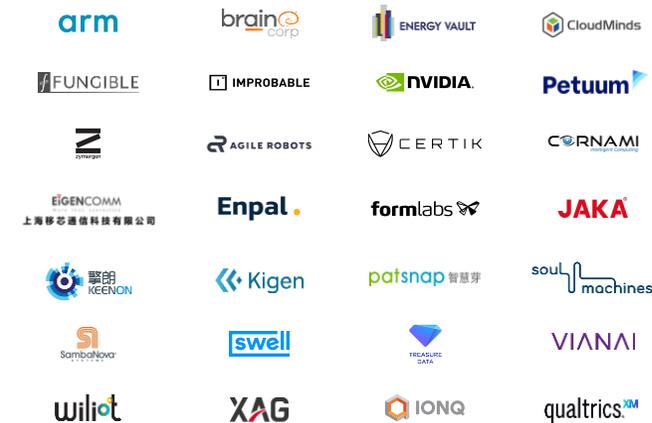
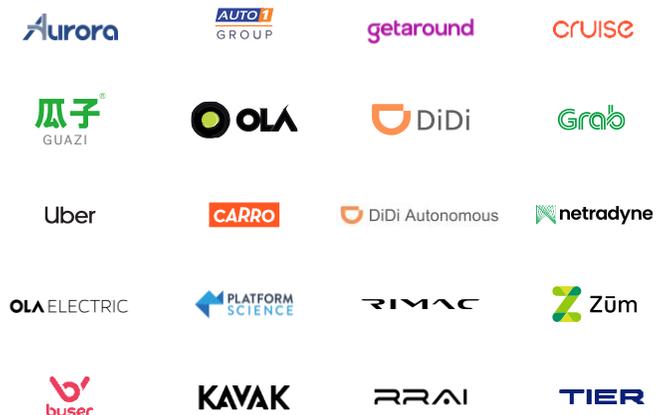
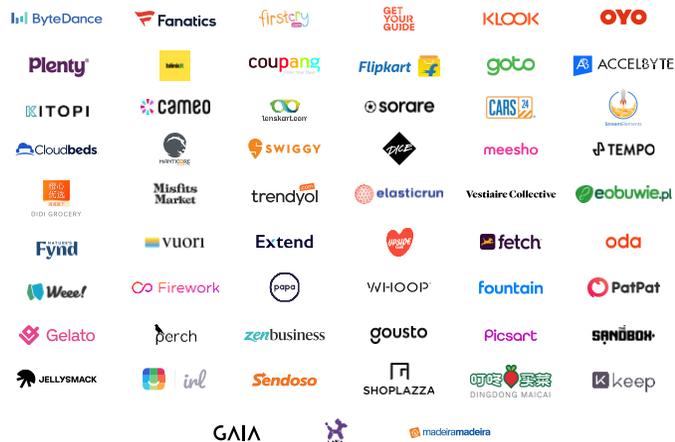
Transportation

\$21.0B | 25 Investments



Frontier Tech

\$20.2B | 33 Investments



Footnotes:

Consumer - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$31.7B, Investment Count: 17; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$6.4B, Investment Count: 58. LatAm Funds Fair Value: \$0.7B, Investment Count: 13. Transportation - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$18.1B, Investment Count: 10; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$2.1B, Investment Count: 10. LatAm Funds Fair Value: \$0.8B, Investment Count: 5. Frontier Tech - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$18.6B, Investment Count: 11; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$1.6B, Investment Count: 21. LatAm Funds Fair Value: \$0.0B, Investment Count: 1. Excludes investments not assigned a sector categorization.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

# Invested Across Diverse Sectors (2/3)

As of December 31, 2022

## FAIR VALUE & INVESTMENT COUNT BY SECTOR



### Enterprise

\$12.3B | 93 Investments



### Logistics

\$17.8B | 36 Investments



### Health Tech

\$9.1B | 56 Investments



#### Footnotes:

Enterprise - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$5.4B, Investment Count: 9; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$5.6B, Investment Count: 63. LatAm Funds Fair Value: \$1.3B, Investment Count: 21. Logistics - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$13.5B, Investment Count: 14; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$3.9B, Investment Count: 16. LatAm Funds Fair Value: \$0.4B, Investment Count: 6. Health Tech - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$6.3B, Investment Count: 10; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$2.8B, Investment Count: 44. LatAm Funds Fair Value: \$0.0B, Investment Count: 2. Excludes investments not assigned a sector categorization.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

# Invested Across Diverse Sectors (3/3)

As of December 31, 2022

## FAIR VALUE & INVESTMENT COUNT BY SECTOR



### Fintech

\$9.8B | 79 Investments



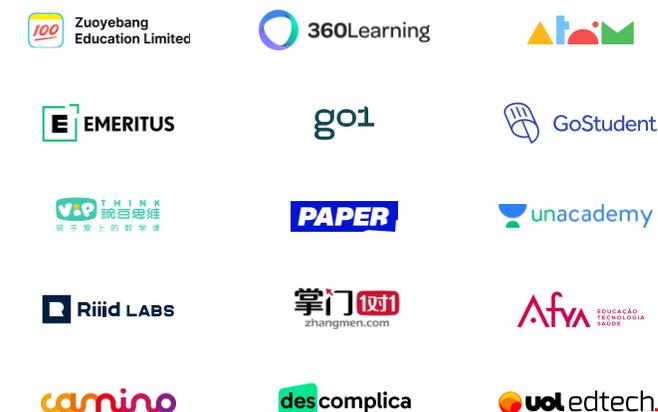
### PropTech

\$6.8B | 25 Investments



### EdTech

\$1.5B | 16 Investments



#### Footnotes:

Fintech - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$2.9B, Investment Count: 11; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$5.4B, Investment Count: 36. LatAm Funds Fair Value: \$1.5B, Investment Count: 32. PropTech - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$2.7B, Investment Count: 11; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$3.3B, Investment Count: 9. LatAm Funds Fair Value: \$0.8B, Investment Count: 5. EdTech - SoftBank Vision Fund 1 Fair Value: \$0.1B, Investment Count: 1; SoftBank Vision Fund 2 Fair Value: \$1.1B, Investment Count: 10. LatAm Funds Fair Value: \$0.3B, Investment Count: 5. Excludes investments not assigned a sector categorization.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

# A Cautious Approach to Investing in the Blockchain & Crypto Sector

As of December 31, 2022

## Our Sector Approach



Potential for multi-industry applications

Smart Contracts | User Identification | Security Solutions



Technology infrastructure focused

Network Facilitators | Data Platforms | Developer Tools



Portfolio construction in-line with sector nascency



Immaterial direct exposure to crypto tokens

### TOTAL EXPOSURE

% OF AUM<sup>1</sup>

<1%

# INVESTMENTS

26

TOTAL FAIR VALUE

\$1.0B

GROSS MOIC<sup>2</sup>

0.5x

### RECENT PORTFOLIO IMPACT

- ① Quarterly valuation in accordance with IFRS 13
- ② Full Investment Write-off:  **FTX** (\$97mm)
- ③ Ongoing engagement with portfolio companies

Footnotes:

1. "% of AUM" based on fair value of Blockchain & Crypto portfolio companies and total fair value of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds as of December 31, 2022.
2. The Total Value to Paid in Capital (TVPI) of SoftBank Vision Fund 1 is 1.11x. The TVPI is defined as Distributions plus Net Asset Value plus Accrued Preferred Equity Coupon (PEC) divided by Paid-in Capital. Distributions and Paid-in Capital are cumulative from Fund Inception to December 31, 2022. Net Asset Value plus Accrued PEC are as of December 31, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature. Past performance is not indicative of future results. Select investments referenced herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to provide examples of the types of investments made by SBIA and do not purport to be a complete list of Vision Fund I, Vision Fund II, or Latam Funds investments.

# Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

---

## SVF 1

## PERFORMANCE &amp; IMPACT ON SBG

# Contribution to SBG, Net of 3<sup>rd</sup> Party Interests<sup>1,3</sup>

Amounts in USD Billions

## SVF1 Inception to

2022  
Dec 31

Fund Net Profit <sup>2</sup>	\$2.8
Less: Change in 3 <sup>rd</sup> Party Interests in Fund	(1.6)
<b>SBG LP Income: Share of Fund Net Profit</b>	<b>1.2</b>
SBG GP Income: Management & Performance Fees <sup>3</sup>	1.0
<b>Contribution to SBG, Net of 3<sup>rd</sup> Party Interests<sup>1</sup></b>	<b>\$2.2</b>

## Footnotes:

- Contribution to SBG, Net of 3<sup>rd</sup> Party Interests reflects the income or loss from SBG's Limited Partner interest and Manager's Management and Performance Fee entitlement. Contributions to SBG and Fund Net Profit include the impact of SBG's interests in the Fund through the Employee Incentive Scheme.
- Fund Net Profit includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
- Management Fees and Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBIA UK reflect total Management Fees and Performance Fees earned by the Manager from Inception of the Fund through December 31, 2022.

SVF 1

PERFORMANCE &amp; IMPACT ON SBG

# Contribution to SBG

As of December 31, 2022

## SBG Paid-In Capital<sup>1</sup>

# \$27.7B

## SBG Total Value<sup>2</sup>

# \$28.9B

Net Asset Value<sup>3</sup>

## \$19.4B

Distributions<sup>4</sup>

## \$9.5B

## Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions.
2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund together with SBG's interest in the Fund through the Employee Incentive Scheme and the Manager's Performance Fee entitlement.
3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
4. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financing and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partner from Fund Inception to December 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

SVF 2

PERFORMANCE &amp; IMPACT ON SBG

# Contribution to SBG

As of December 31, 2022

## SBG Paid-In Capital<sup>1</sup>

# \$49.1B

## SBG Total Value<sup>2</sup>

# \$33.1B

Net Asset Value<sup>3</sup>

## \$24.2B

Distributions<sup>4</sup>

## \$8.9B

## Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions. SBG Paid-In Capital is net of the capital contributions receivable from MgmtCo as part of the Co-investment program of SoftBank Vision Fund 2.
2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund.
3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
4. Distributions include proceeds from Investment Realization and Financing distributed to Limited Partner from Fund Inception to December 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank Vision Fund 2. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

LATAM

PERFORMANCE &amp; IMPACT ON SBG

# Contribution to SBG

As of December 31, 2022

## SBG Paid-In Capital<sup>1</sup>

# \$6.9B

## SBG Total Value<sup>2</sup>

# \$5.9B

Net Asset Value<sup>3</sup>

# \$5.8B

Distributions<sup>4</sup>

# \$0.1B

## Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions. SBG Paid-In Capital is net of the capital contributions receivable from MgmtCo as part of the Co-investment program of SoftBank LatAm Funds.
2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund and the Manager's Performance Fee entitlement.
3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
4. Distributions include proceeds from Investment Realization and Financing distributed to Limited Partner from Fund Inception to December 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank LatAm Funds. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

# In Focus: Resilience & Discipline in a Challenging Market

---

# A High-Conviction Portfolio Supported by Defensive Measures



# Portfolio Companies Pursuing Consolidation Opportunities

Twelve-Month Period Ended December 31, 2022

Benefits of Consolidation



Economies of Scale & Scope



Expansion to New Markets



Product Innovation



Access to Talent



Diversification of Risk

## SELECT EXAMPLES

 Fanatics



JANUARY 2022





FEBRUARY 2022





APRIL 2022





MAY 2022





MAY 2022

 blinkit

 zomato

JUNE 2022





JUNE 2022





JULY 2022





JULY 2022





AUGUST 2022





SEPTEMBER 2022





DECEMBER 2022

# Partnerships Forged During Periods of Uncertainty

Twelve-Month Period Ended December 31, 2022

## Benefits of Strategic Partnerships

Access to new markets and channels

Acceleration of innovation

Improved customer value proposition

Shared infrastructure

Risk reduction

	Portfolio Company	Partner(s)	Description
SVF1	 Fanatics		Acquired in-venue retail rights for the 2028 Olympics
	 Rappi	 bitpay  Bitso	Launched a cryptocurrency payment program in Mexico
SVF2	 elevatebio	 University of Pittsburgh	Created a bio-manufacturing center to drive cell & gene therapy innovations
	 CITYBLOCK	 MDwise	Entered a new market to deliver healthcare to underserved communities
	 pax8	Multiple Cloud Services Vendors	Expanded the number of cloud-based providers in its APAC marketplace
	 Klarna.	 WIX	Providing fair and flexible payment options to Wix eCommerce merchants
	 Cloudbeds	 HERO	Enables the distribution of unique, independent properties in Australia

# Embedding Operational & Financial Resilience

As of December 31, 2022

## SELECT AREAS OF FOCUS



Rationalizing Sales & Marketing costs



Orienting towards quality of growth



Strengthening governance and refocusing organizational culture



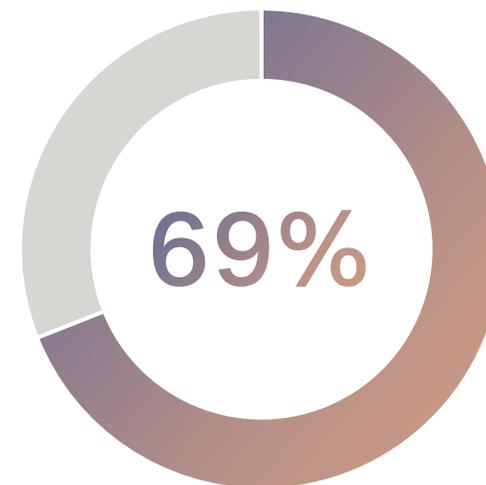
Re-examining supply chains



Re-engineering & optimizing core processes

## Portfolio Companies Continue to Moderate Operating Expenses

% of Portfolio Companies Increasing Sales & Marketing Efficiency through Cost Reduction<sup>1</sup>



### Footnotes:

1. Source: SBGA/SBIA Analysis. Based on the count of portfolio companies reducing sales & marketing spend during at least one quarterly reporting period (July 1 - December 31, 2022). Excludes portfolio companies where sales & marketing spend data is unavailable.

The information herein is provided solely for illustrative purposes. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Past performance is not necessarily indicative of future results.

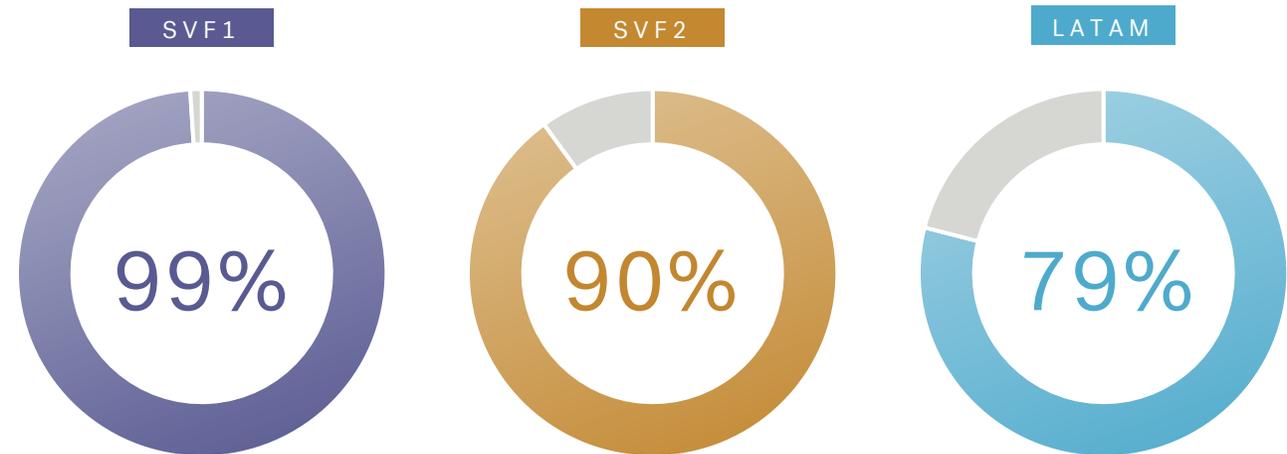
RESILIENCE & DISCIPLINE IN  
A CHALLENGING MARKET

## Portfolio Companies Continue to Be Well-Capitalized

As of December 31, 2022

### Portfolio Companies with 12+ Months Cash Runway

By Fair Value<sup>1</sup>



Footnotes:

1. Source: SBGA/SBIA Analysis. Based on portfolio company fair value. Excludes portfolio companies where cash runway data is unavailable. As of December 31, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. There can be no assurances that any plans described herein will be realized on the terms expressed herein or at all, and all such plans are subject to uncertainties and risks, as well as investor consents and regulatory approvals, as applicable. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Past performance is not necessarily indicative of future results.

# A High-Conviction Portfolio Supported by Defensive Measures



## Select Defensive Measures

**Portfolio Diversification**

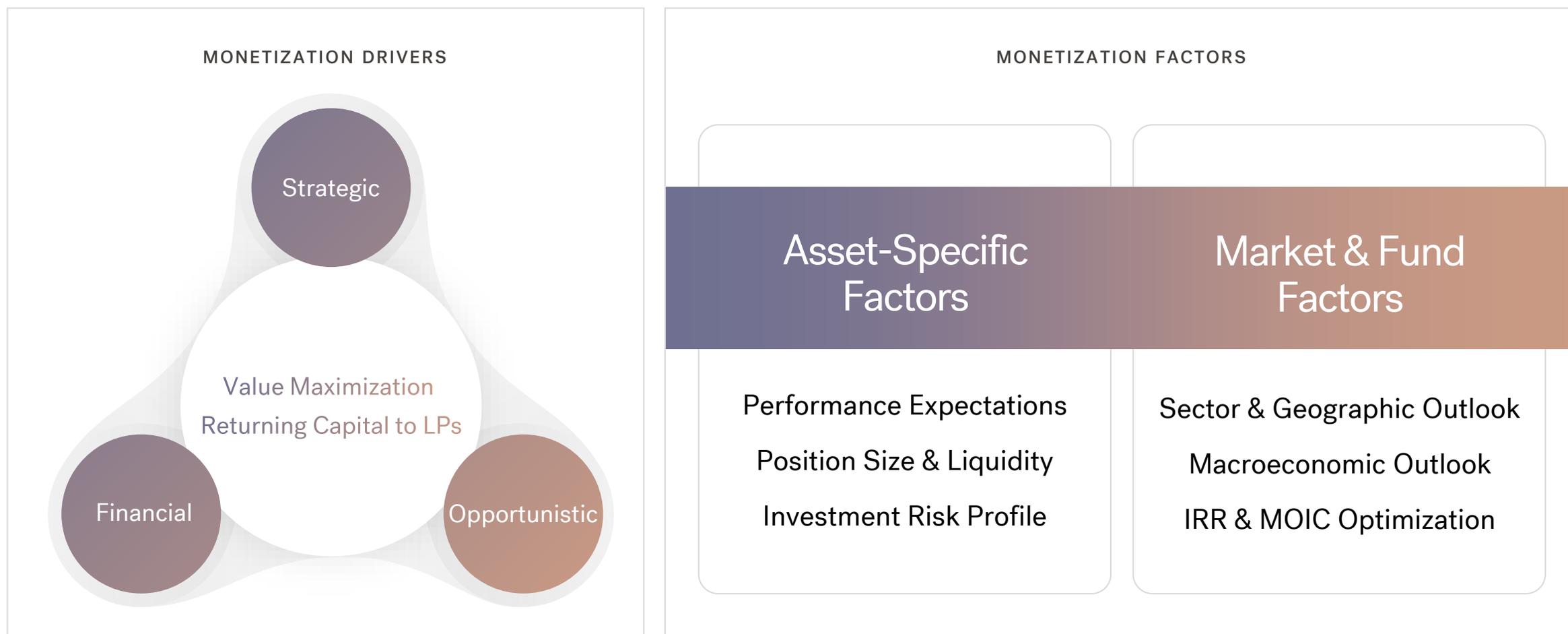
---

**Disciplined Focus and  
Approach to Monetization**

---

**Distributions**

# Disciplined & Focused Approach to Monetization



# Our Monetization Approach Continues to Drive Optimal Outcomes

As of December 31, 2022

## MONETIZATION HIGHLIGHTS

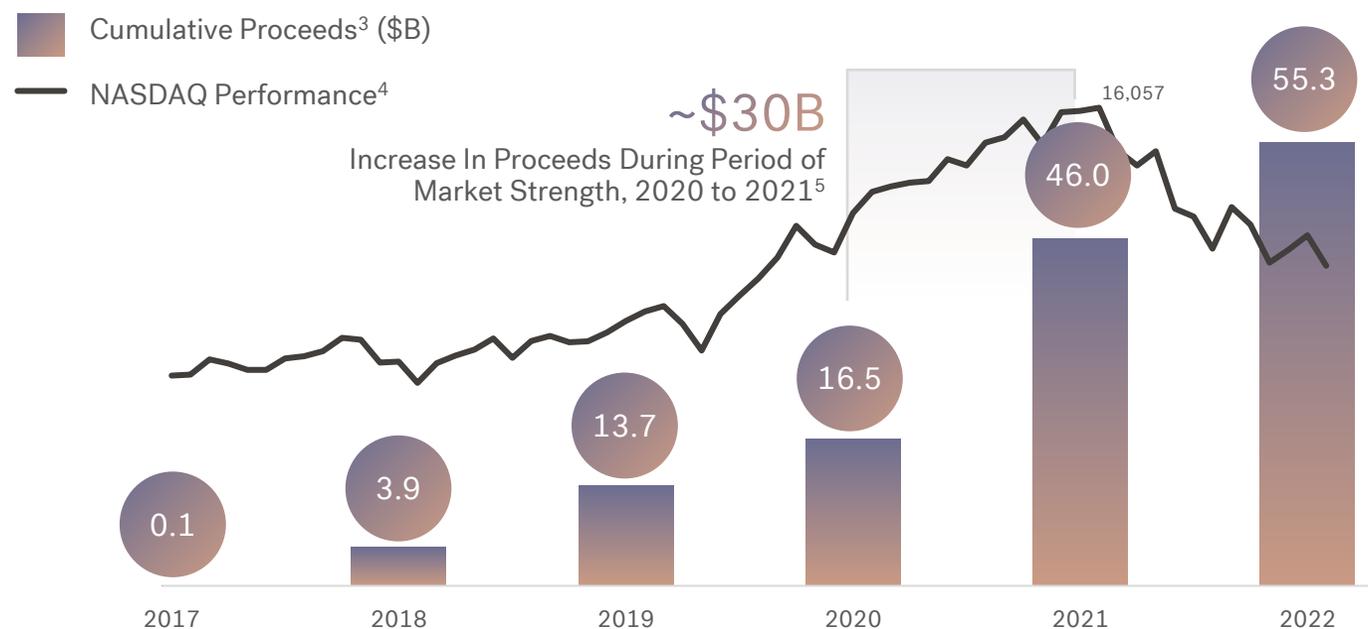
**2.0x**  
Gross Realized MOIC<sup>1</sup>

**48** Public Listings

**44%** Public Investments Exited<sup>2</sup>

**7%** Private Investments Exited<sup>2</sup>

## CUMULATIVE PROCEEDS SINCE INCEPTION



### Footnotes:

1. Gross Realized Multiple of Invested Capital ("MOIC") is Gross Realized Proceeds divided by Realized Investment Cost. Gross Realized Proceeds is defined as the sum of all external cash flows derived from investments, gross of taxes, transaction fees, and other fund-related expenses. Investment Cost defined as the sum of all external cash flows directed towards Portfolio Companies. The Total Value to Paid in Capital (TVPI) of SoftBank Vision Fund 1 is 1.11x. The TVPI is defined as Distributions plus Net Asset Value plus Accrued Preferred Equity Coupon (PEC) divided by Paid-in Capital. Distributions and Paid-in Capital are cumulative from Fund Inception to December 31, 2022. Net Asset Value plus Accrued PEC are as of December 31, 2022.

2. Public & Private Exits include both full and partial exits since inception of the Funds to December 31, 2022.

3. Cumulative Proceeds Since Inception include proceeds from investment monetization activity and financing activity, from inception to December 31, 2022.

4. Source: S&P CapIQ.

5. Represents growth in proceeds from December 31, 2020, to December 31, 2021.

There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA, SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds described in this Presentation will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds, or any successor fund managed by the Manager, and such processes and operations may change. Select investments presented herein are solely for illustrative purposes and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds investments. References to investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. It should not be assumed that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described herein. Please refer to [visionfund.com/portfolio](http://visionfund.com/portfolio) for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds investments. Exit or IPO information is presented solely for illustrative purposes, has been selected in order to provide examples of current and former SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds investments that have been publicly listed and do not purport to be a complete list thereof. Individual investors' results may vary. References to specific investments should not be construed as a recommendation of any particular investment or security.

# Portfolio Companies Poised to List Publicly

As of December 31, 2022

# \$37B+

## Value of Late-Stage Portfolio Company Holdings

Total FV, Series E or Later<sup>1</sup>

### Select Portfolio Companies

SVF1

arm

ByteDance

SVF2

PayPay

Flipkart

LATAM

KAVAK

QuintoAndar

### Public Listing Readiness

- ✓ Strong Fundamentals
- ✓ Resilient Business Models
- ✓ Sustainable Growth Profiles
- ✓ Governance, Operating & Financial Discipline

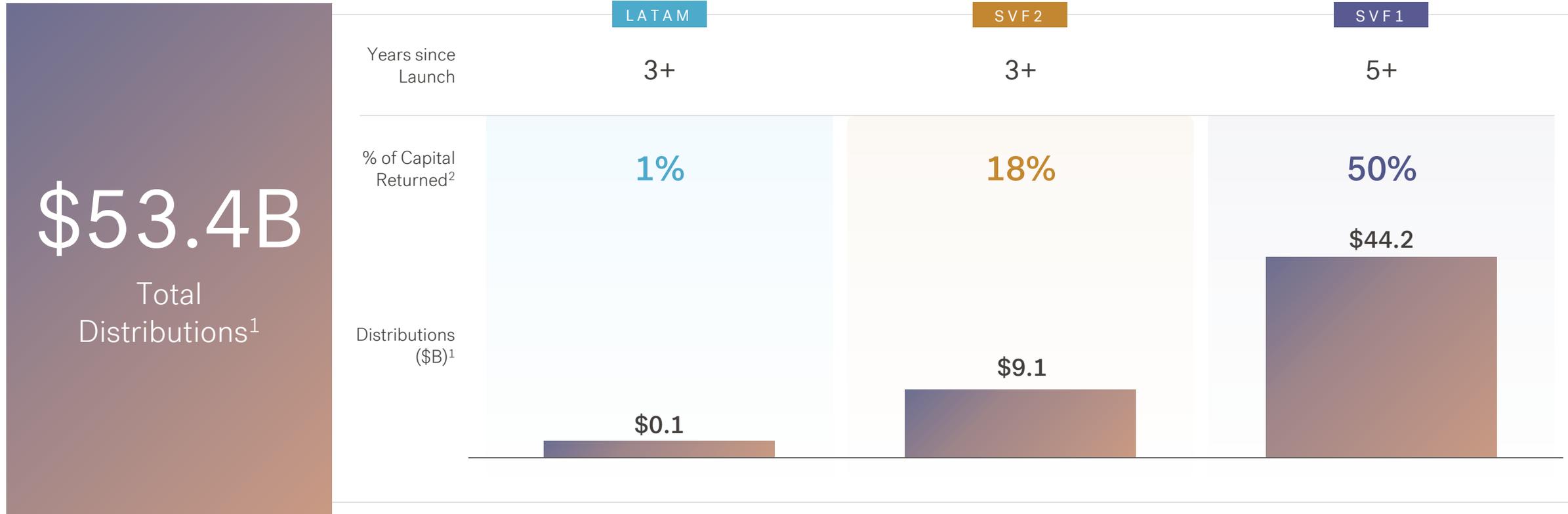
Footnotes:

1. Source: SBIA/SBGA Analysis. As of December 31, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Select Investments presented herein are solely for illustrative purposes and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1, Vision Fund 2, and Latam Fund Investments. References to Investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular Investment or security. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Please refer to [visionfund.com/portfolio](http://visionfund.com/portfolio) for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1 and Vision Fund 2 Investments and [www.latinamericafund.com/](http://www.latinamericafund.com/) for a list of Latam Fund investments. Past performance is not necessarily indicative of future results.

# Consistent Ability to Return Capital

As of December 31, 2022



Footnotes:

1. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financings, and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partners from Fund Inception to December 31, 2022. It includes the Return of Rec callable Utilized Contributions and the Return of Non-Rec callable Utilized Contributions but does not include the Return of Rec callable Unutilized Contributions.
2. % of Capital Returned represents Distributions to Paid-In Capital as of December 31, 2022.

The information herein is presented for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and the LatAm Funds. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. For the avoidance of doubt, the information present herein should not be understood as the "track record" or projected performance of SVF1, SVF2, or the LatAm Funds. Past performance is not necessarily indicative of future results.

RESILIENCE &amp; DISCIPLINE IN A CHALLENGING MARKET



SoftBank  
Investment Advisers



SoftBank  
Global Advisers

We Remain Relentlessly Focused  
on Artificial Intelligence

INVESTING

VALUE CREATION

MONETIZATION

# \$15.7T

Projected Contribution of AI  
to the Global Economy – 2030E<sup>1</sup>

**2.5x** Increase in AI Adoption  
Globally, 2017 – 2022<sup>2</sup>

**35%** AI Chip Market CAGR<sup>3</sup>  
The global AI Chip market is expected to  
grow to ~\$250B by 2030.

## Footnotes:

1. Source: PwC. Sizing the Prize: What's the Real Value of AI for your business and how can you capitalize?
2. Source: McKinsey. The State of AI in 2022. December 2022.
3. Source: Statista. Size of artificial intelligence (AI) chip market worldwide in 2019 and 2030.

The information provided herein is for illustrative purposes only and reflects the beliefs of SBIA as of the date of this presentation. There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA, SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and the SoftBank LatAm Funds described in this Presentation will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds or any successor fund managed by the Manager, and such processes and operations may change. Some of the information presented herein was prepared by a third party and the Manager makes no representation regarding its accuracy.

# Thank You

---